

瓦 礫 類 ・ 伐 採 木 管 理 票

計上No. 6012803 - 0020

作業 主 管 G 記 入 欄 メ モ	保管希望日時	2019年8月19日		(月)	11:00		承認	審査	作成		
	作業件名	3u キヤスク取扱構内移送業務委託									
	発生場所	燃料倉庫(GM-19 東)									
	作業主管G	燃料管理グループ				監理員	TEL				
	元請会社					担当者	TEL				
	線量測定年月日	2019/7/26	測定者			測定器名	ICWBL		管理番号	F1-ICWBL-113	
	No.	※カテゴリ				物 量	測定場所 雰囲気線量率	表面線量率	β・α 汚染の有無	β + γ 線量率	
		①	②	③							
	1	可燃物その他	A	04	D	B	0.2 m ²	5 μSv/h	5 μSv/h	無	
	2	不燃物その他	B	10	D	B	0.2 m ²	5 μSv/h	5 μSv/h	無	
	3						m ²				
	4						m ²				
	5						m ²				

固体廃棄物管理G記入欄				受付
受 付 番 号				
廃2019	—	08	—	0063
				2019/8/1
調整後保管日時		2019年8月19日		11:00
【保管時の指示事項等】				

線量測定内容			
測定日	2019年8月19日		
測定No.	氏名	測定器	管理番号
1		ICW	F1-ICW-179
2		ICWBL	F1-ICWBL-42
3			
4			

保管 実績 記入 欄 メ モ	No.	枝 番	保 管 物 名	測定場所 雰囲気線量率	表面線量率	β + γ 線量率	保管場所	保管日時	物 量	再利用 減容可	コンテナNo.	測定No.
	1	1	可燃物その他	2 μSv/h	2 μSv/h		エリアV(瓦礫類)	2019/8/19 10:10	0.05 m ²			1
	2	1	不燃物その他 ②	5 μSv/h	5 μSv/h		エリアPI(屋外)	2019/8/19 10:15	0.5 m ²			2
									m ²			
									m ²			
									m ²			

*線量測定は保管場所があらかじめ決まっている伐採木等は省略する。再利用/減容が可能と推測される場合、再利用:RU、減容:VRと記載。固体庫保管時はコンテナNo.記載

※カ テ ゴ リ	①	A	可 燃 物	01	紙・ウエス類	02	プラスチック・ポリ・ビニール類	03	木材類	04	可燃物その他	05	—
				06	—	07	—	08	—	09	—	10	—
		B	不 燃 物	01	金属ガラ	02	コンクリートガラ	03	機器類・制御盤類	04	土砂類	05	塩化ビニール類
				06	保温材	07	石綿含有物	08	ケーブル類	09	アスファルトガラ	10	不燃物その他
				11	フランジタンク本体	12	フランジタンク付属品	13	石綿含有物(はつり屑等)	14	—	15	—
		C	難 燃 物	01	ゴム類	02	難燃シート類	03	ホース類	04	難燃物その他	05	—
				D	伐 採 木	01	伐採木(幹・根)	02	伐採木(枝・葉)	03	—	04	—
		②	状 態			D:乾燥, W:湿気有	③	履 歴	A:「1F構内にあった物」, B:「工事のために持ち込まれた物」				

注1:可燃・難燃物は原則として透明袋に収納すること。注2:伐採木の積み上げ高さは固体廃棄物管理Gの指示に従うこと。(最大で5m以下とする。)

注3:飛散抑制等必要な措置を講じ運搬し、保管エリアに応じた飛散防止(養生、容器収納等)を施し保管すること。注4:塩化ビニール類については可燃・難燃側に持込みのこと。

注5:β汚染有の場合、表面線量率欄には「γ」のみの線量率を記載し、β + γ線量率欄に「β + γ」の線量率を記載すること。β汚染無の場合は、β + γ線量率の記載不要。

注6:コンテナで持ち込む場合は、保管物名欄またはメモ欄にコンテナNo.を記載すること。

瓦 礫 類 ・ 伐 採 木 管 理 票

計上No. 6012319 - 0005

作業 主 管 G 記 入 欄	保管希望日時	2019年8月21日		(水)	10:30		承認	審査	作成				
	作業件名	化学分析及び放射能測定業務											
	発生場所	5, 6号機 ホットラボ(GJ-14)					2019/8/1	2019/8/1	2019/8/1				
	作業主管G	分析評価グループ				監理員		TEL					
	元請会社					担当者		TEL					
	線量測定年月日	2019/7/26		測定者		測定器名	β・γ電離箱		管理番号	F1-ICWBL-122			
メ モ	No.	保管物名				※カテゴリ		物 量	測定場所 雰囲気線量率	表面線量率	β・α 汚染の有無	β + γ 線量率	
		①	②	③									
	1	不燃物その他(アルミ類)				B	10	D	A	0.2 m ²	0.01 mSv/h	0.01 mSv/h	無
	2	不燃物その他(安全靴)				B	10	D	A	0.1 m ²	0.01 mSv/h	0.01 mSv/h	無
	3	金属ガラ(スプレー缶)				B	01	D	A	0.1 m ²	0.01 mSv/h	0.01 mSv/h	無
	4	不燃物その他(乾電池)				B	10	D	A	0.1 m ²	0.01 mSv/h	0.01 mSv/h	無
5	金属ガラ				B	01	D	A	0.5 m ²	0.01 mSv/h	0.01 mSv/h	無	
注: α有、β α有の場合、α線量情報をここに記載のこと。													

固体廃棄物管理G記入欄				受付
受 付 番 号				
廃2019	—	08	—	0081
				2019/8/2
調整後保管日時		2019年8月21日		10:30
【保管時の指示事項等】				

線量測定内容				
測定日	2019年8月21日			
測定No.	氏名	測定器	管理番号	
1		ICWBL	F1-ICWBL-42	
2				
3				
4				

保管 実績 記 入 欄	No.	枝 番	保 管 物 名	測定場所 雰囲気線量率	表面線量率	β + γ 線量率	保管場所	保管日時	物 量	再利用 減容可	コンテナNo.	測定No.
	1	1	不燃物その他(アルミ類) ②	5 μSv/h	5 μSv/h		エリアP1(屋外)	2019/8/21 10:45	0.2 m ²			1
	2	1	不燃物その他(安全靴) ②	5 μSv/h	5 μSv/h		エリアP1(屋外)	2019/8/21 10:45	0.1 m ²			1
	3	1	金属ガラ(スプレー缶) ①	5 μSv/h	5 μSv/h		エリアP1(屋外)	2019/8/21 10:45	0.1 m ²			1
	4	1	不燃物その他(乾電池) ②	5 μSv/h	5 μSv/h		エリアP1(屋外)	2019/8/21 10:45	0.05 m ²			1
	5	1	金属ガラ ①	5 μSv/h	5 μSv/h		エリアP1(屋外)	2019/8/21 10:45	0.5 m ²			1

*線量測定は保管場所があらかじめ決まっている伐採木等は省略する。 再利用/減容が可能と推測される場合、再利用:RU、減容:VRと記載。固体庫保管時はコンテナNo.記載

※カ テ ゴ リ	①	A	可 燃 物	01	紙・ウエス類	02	プラスチック・ポリ・ビニール類	03	木材類	04	可燃物その他	05	—
				06	—	07	—	08	—	09	—	10	—
		B	不 燃 物	01	金属ガラ	02	コンクリートガラ	03	機器類・制御盤類	04	土砂類	05	塩化ビニール類
				06	保温材	07	石綿含有物	08	ケーブル類	09	アスファルトガラ	10	不燃物その他
				11	フランジタンク本体	12	フランジタンク付属品	13	石綿含有物(はつり屑等)	14	—	15	—
		C	難 燃 物	01	ゴム類	02	難燃シート類	03	ホース類	04	難燃物その他	05	—
				D	伐 採 木	01	伐採木(幹・根)	02	伐採木(枝・葉)	03	—	04	—
		②	状 態			D:乾燥, W:湿気有	③	履 歴	A:「1F構内にあった物」, B:「工事のために持ち込まれた物」				

注1:可燃・難燃物は原則として透明袋に収納すること。 注2:伐採木の積み上げ高さは固体廃棄物管理Gの指示に従うこと。(最大で5m以下とする。)
 注3:飛散抑制等必要な措置を講じ運搬し、保管エリアに応じた飛散防止(養生、容器収納等)を施し保管すること。 注4:塩化ビニール類については可燃・難燃側に持込みのこと。
 注5:β汚染有の場合、表面線量率欄には「γ」のみの線量率を記載し、β + γ線量率欄に「β + γ」の線量率を記載すること。β汚染無の場合は、β + γ線量率の記載不要。
 注6:コンテナで持ち込む場合は、保管物名欄またはメモ欄にコンテナNo. を記載すること。

瓦 礫 類 ・ 伐 採 木 管 理 票

計上No. 6012319 - 0005

作業 主 管 欄 メ モ	保管希望日時	2019年8月21日		(水)	10:30	承認	審査	作成			
	作業件名	化学分析及び放射能測定業務									
	発生場所	5, 6号機 ホットラボ(GJ-14)				2019/8/9	2019/8/9	2019/8/9			
	作業主管G	分析評価グループ			監理員	TEL					
	元請会社				担当者	TEL					
	線量測定年月日	2019/7/26	測定者		測定器名	β・γ電離箱		管理番号	F1-ICWBL-122		
G 記 入 欄 メ モ	No.	※カテゴリ				物 量	測定場所 雰囲気線量率	表面線量率	β・α 汚染の有無	β + γ 線量率	
		①	②	③							
	1	不燃物その他(ガラス類)	B	10	D	A	1.2 m ³	0.01 mSv/h	0.01 mSv/h	無	
	2	不燃物その他(トナー・カートリッジ)	B	10	D	A	1 m ³	0.01 mSv/h	0.01 mSv/h	無	
	3	不燃物その他(ステンレス皿)	B	10	D	A	0.6 m ³	0.01 mSv/h	0.01 mSv/h	無	
	4	機器類・制御盤類(シュレッター他)	B	03	D	A	1.2 m ³	0.01 mSv/h	0.01 mSv/h	無	
5	金属ガラ(ラック他)	B	01	D	A	1 m ³	0.01 mSv/h	0.01 mSv/h	無		
注: α有、β α有の場合、α線量情報をここに記載のこと。											

固体廃棄物管理G記入欄				受付
受 付 番 号				
廃2019	—	08	—	0082
				2019/8/9
調整後保管日時		2019年8月21日		10:30
【保管時の指示事項等】				

線量測定内容				
測定日	2019年8月21日			
測定No.	氏名	測定器	管理番号	
1		ICWBL	F1-ICWBL-42	
2				
3				
4				

保管 実 績 記 入 欄 メ モ	No.	枝 番	保 管 物 名	測定場所 雰囲気線量率	表面線量率	β + γ 線量率	保管場所	保管日時	物 量	再利用 減容可	コンテナNo.	測定No.
	1	1	不燃物その他(ガラス類) ②	5 μSv/h	5 μSv/h		エリアP1(屋外)	2019/8/21 10:50	2 m ³			1
	2	1	不燃物その他(トナー・カートリッジ) ②	5 μSv/h	5 μSv/h		エリアP1(屋外)	2019/8/21 10:50	2 m ³			1
	3	1	不燃物その他(ステンレス皿) ①	5 μSv/h	5 μSv/h		エリアP1(屋外)	2019/8/21 10:50	0.3 m ³			1
	4	1	機器類・制御盤類(シュレッター他) ①	5 μSv/h	5 μSv/h		エリアP1(屋外)	2019/8/21 10:50	1 m ³			1
	5	1	金属ガラ(ラック他) ①	5 μSv/h	5 μSv/h		エリアP1(屋外)	2019/8/21 10:50	1 m ³			1
* 線量測定は保管場所があらかじめ決まっている伐採木等は省略する。 再利用/減容が可能と推測される場合、再利用:RU、減容:VRと記載。固体庫保管時はコンテナNo.記載												

※カ テ ゴ リ	①	A	可 燃 物	01	紙・ウエス類	02	プラスチック・ポリ・ビニール類	03	木材類	04	可燃物その他	05	—
				06	—	07	—	08	—	09	—	10	—
		B	不 燃 物	01	金属ガラ	02	コンクリートガラ	03	機器類・制御盤類	04	土砂類	05	塩化ビニール類
				06	保温材	07	石綿含有物	08	ケーブル類	09	アスファルトガラ	10	不燃物その他
				11	フランジタンク本体	12	フランジタンク付属品	13	石綿含有物(はつり屑等)	14	—	15	—
		C	難燃物	01	ゴム類	02	難燃シート類	03	ホース類	04	難燃物その他	05	—
		D	伐 採 木	01	伐採木(幹・根)	02	伐採木(枝・葉)	03	—	04	—	05	—
		②	状 態	D:乾燥, W:湿気有		③	履 歴	A:「1F構内にあった物」、B:「工事のために持ち込まれた物」					

注1: 可燃・難燃物は原則として透明袋に収納すること。 注2: 伐採木の積み上げ高さは固体廃棄物管理Gの指示に従うこと。(最大で5m以下とする。)

注3: 飛散抑制等必要な措置を講じ運搬し、保管エリアに応じた飛散防止(養生、容器収納等)を施し保管すること。 注4: 塩化ビニール類については可燃・難燃側に持込みのこと。

注5: β汚染有の場合、表面線量率欄には「γ」のみの線量率を記載し、β + γ線量率欄に「β + γ」の線量率を記載すること。β汚染無の場合は、β + γ線量率の記載不要。

注6: コンテナで持ち込む場合は、保管物名欄またはメモ欄にコンテナNo. を記載すること。

瓦 礫 類 ・ 伐 採 木 管 理 票

計上No. 6013214 - 0001

作業主管理G記入欄	保管希望日時	2019年8月21日		(水)	10:00	承認	審査	作成		
	作業件名	共用プール西側ヤード整備工事関連除却工事								
	発生場所	第二土捨場(GN-9南西)				2019/8/2	2019/8/2	2019/8/2		
	作業主管G	建築廃棄物対策グループ			監理員	TEL				
	元請会社				担当者	TEL				
線量測定年月日	2019/7/11	測定者			測定器名	電離箱		管理番号	F1-ICWBL-119	
	No.	※カテゴリ			物 量	測定場所 雰囲気線量率	表面線量率	β・α 汚染の有無	β+γ 線量率	
		①	②	③						
	1	コンクリートガラ	B	09	D	A	0.5 m	0.002 mSv/h	0.002 mSv/h	無
	2	アスファルトガラ	B	09	D	A	0.1 m	0.002 mSv/h	0.002 mSv/h	無
入	3	不燃物その他	B	10	D	A	3.5 m	0.002 mSv/h	0.002 mSv/h	無
	4	金属ガラ	B	01	D	A	2 m	0.002 mSv/h	0.002 mSv/h	無
	5									
メモ	注: α有、β α有の場合、α線量情報をここに記載のこと。									

固体廃棄物管理G記入欄				受付
受 付 番 号				
廃2019	—	08	—	0084
				2019/8/2
調整後保管日時		2019年8月21日		10:00
【保管時の指示事項等】				

線量測定内容				
測定日	2019年8月21日			
測定No.	氏名	測定器	管理番号	
1		ICWBL	F1-ICWBL-42	
2				
3				
4				

保管実績記入欄	No.	枝番	保管物名	測定場所 雰囲気線量率	表面線量率	β+γ 線量率	保管場所	保管日時	物 量	再利用 減容可	コンテナNo.	測定No.
	1	1	コンクリートガラ①	5 μSv/h	5 μSv/h		エリアC	2019/8/21 9:15	0.1 m ³			1
	2	1	アスファルトガラ①	5 μSv/h	5 μSv/h		エリアC	2019/8/21 9:15	0.1 m ³			1
	3	1	不燃物その他②	5 μSv/h	5 μSv/h		エリアP1(屋外)	2019/8/21 9:15	3 m ³			1
	4	1	金属ガラ①	5 μSv/h	5 μSv/h		エリアP1(屋外)	2019/8/21 9:15	2 m ³			1
									m ³			

*線量測定は保管場所があらかじめ決まっている伐採木等は省略する。再利用/減容が可能と推測される場合、再利用:RU、減容:VRと記載。固体庫保管時はコンテナNo.記載

メモ	
----	--

※カテゴリー	①	A	可燃物	01	紙・ウエス類	02	プラスチック・ポリ・ビニール類	03	木材類	04	可燃物その他	05	—	
				06	—	07	—	08	—	09	—	10	—	
		B	不燃物	01	金属ガラ	02	コンクリートガラ	03	機器類・制御盤類	04	土砂類	05	塩化ビニール類	
				06	保温材	07	石綿含有物	08	ケーブル類	09	アスファルトガラ	10	不燃物その他	
				11	フランジタンク本体	12	フランジタンク付属品	13	石綿含有物(はつり屑等)	14	—	15	—	
		C	難燃物	01	ゴム類	02	難燃シート類	03	ホース類	04	難燃物その他	05	—	
				D	伐採木	01	伐採木(幹・根)	02	伐採木(枝・葉)	03	—	04	—	05
		②	状態			D:乾燥, W:湿気有	③	履歴	A:「1F構内にあった物」、B:「工事のために持ち込まれた物」					

注1:可燃・難燃物は原則として透明袋に収納すること。注2:伐採木の積み上げ高さは固体廃棄物管理Gの指示に従うこと。(最大で5m以下とする。)
 注3:飛散抑制等必要な措置を講じ運搬し、保管エリアに応じた飛散防止(養生、容器収納等)を施し保管すること。注4:塩化ビニール類については可燃・難燃側に持込みのこと。
 注5:β汚染有の場合、表面線量率欄には「γ」のみの線量率を記載し、β+γ線量率欄に「β+γ」の線量率を記載すること。β汚染無の場合は、β+γ線量率の記載不要。
 注6:コンテナで持ち込む場合は、保管物名欄またはメモ欄にコンテナNo.を記載すること。

瓦 礫 類 ・ 伐 採 木 管 理 票										計上No. 6013705 - 0071														
作業主管理	保管希望日時	2019年8月23日		(金)	9:30		承認	審査	作成															
	作業件名	1F-1~4号機 干渉物撤去工事(地上階)																						
	発生場所	1号機 Rw/B 中操						2019/8/2	2019/8/2	2019/8/2														
	作業主管G	地下水対策グループ				監理員			TEL															
	元請会社					担当者			TEL															
線量測定	線量測定年月日	2019/6/5		測定者			測定器名	ICWBL		管理番号	F1-ICWBL-24													
	No.	保管物名		※カテゴリ			物 量	測定場所 雰囲気線量率		表面線量率	$\beta \cdot \alpha$ 汚染の有無	$\beta + \gamma$ 線量率												
				①	②	③																		
				1	金属ガラ	B							01	D	A	3	m ³	0.01	mSv/h	0.05	mSv/h	β 有	0.1	mSv/h
				2	機器類・制御盤類	B							03	D	A	1	m ³	0.01	mSv/h	0.03	mSv/h	β 有	0.05	mSv/h
3	ケーブル類	B	08	D	A	1	m ³	0.01	mSv/h	0.03	mSv/h	β 有	0.05	mSv/h										
4	不燃物その他	B	10	D	A	1	m ³	0.01	mSv/h	0.08	mSv/h	β 有	0.2	mSv/h										
5							m ³																	
注: α 有、 $\beta \alpha$ 有の場合、 α 線量情報をここに記載のこと。 固体廃棄物管理G殿打合せ済 P2保管																								
保管実績	No.	枝番	保管物名	測定場所 雰囲気線量率		表面線量率		$\beta + \gamma$ 線量率		保管場所	保管日時	物 量		再利用 減容可	コンテナNo.	測定No.								
				5	μ Sv/h	5	μ Sv/h	15	μ Sv/h			3	m ³											
				5	μ Sv/h	5	μ Sv/h	15	μ Sv/h			1	m ³											
				5	μ Sv/h	5	μ Sv/h	15	μ Sv/h			0.5	m ³											
				5	μ Sv/h	5	μ Sv/h	15	μ Sv/h			0.5	m ³											
4	1	不燃物その他	5	μ Sv/h	5	μ Sv/h	15	μ Sv/h	エリアP2	2019/8/23 9:35	0.5	m ³		1										
* 線量測定は保管場所があらかじめ決まっている伐採木等は省略する。再利用/減容が可能と推測される場合、再利用:RU、減容:VRと記載。固体庫保管時はコンテナNo.記載																								
上記の物品はシート養生にて保管。																								
※カテゴリ	①	A	可燃物	01	紙・ウェス類	02	プラスチック・ポリビニール類	03	木材類	04	可燃物その他	05	—											
				06	—	07	—	08	—	09	—	10	—											
		B	不燃物	01	金属ガラ	02	コンクリートガラ	03	機器類・制御盤類	04	土砂類	05	塩化ビニール類											
				06	保温材	07	石綿含有物	08	ケーブル類	09	アスファルトガラ	10	不燃物その他											
				11	フランジタンク本体	12	フランジタンク付属品	13	石綿含有物(はつり屑等)	14	—	15	—											
		C	難燃物	01	ゴム類	02	難燃シート類	03	ホース類	04	難燃物その他	05	—											
				01	伐採木(幹・根)	02	伐採木(枝・葉)	03	—	04	—	05	—											
		D	伐採木	01	伐採木(幹・根)	02	伐採木(枝・葉)	03	—	04	—	05	—											
				01	伐採木(幹・根)	02	伐採木(枝・葉)	03	—	04	—	05	—											
		②	状 態	D:乾燥, W:湿気有		③	履歴	A:「1F構内にあった物」, B:「工事のために持ち込まれた物」																
注1:可燃・難燃物は原則として透明袋に収納すること。注2:伐採木の積み上げ高さは固体廃棄物管理Gの指示に従うこと。(最大で5m以下とする。) 注3:飛散抑制等必要な措置を講じ運搬し、保管エリアに応じた飛散防止(養生、容器収納等)を施し保管すること。注4:塩化ビニール類については可燃・難燃側に持込みのこと。 注5: β 汚染有の場合、表面線量率欄には「 γ 」のみの線量率を記載し、 $\beta + \gamma$ 線量率欄に「 $\beta + \gamma$ 」の線量率を記載すること。 β 汚染無の場合は、 $\beta + \gamma$ 線量率の記載不要。 注6:コンテナで持ち込む場合は、保管物名欄またはメモ欄にコンテナNo. を記載すること。																								

瓦 礫 類 ・ 伐 採 木 管 理 票

計上No. 6013204 - 0011

作 業 主 管 入 欄	保管希望日時	2019年8月19日		(月)	10:00	承認	審査	作成			
	作業件名	1～4号機T/B東側構内整備工事									
	発生場所	1/2号機新SB建屋(GI-22)				2019/8/5	2019/8/5	2019/8/5			
	作業主管G	建築水対策グループ			監理員	TEL					
	元請会社				担当者	TEL					
G 記 入 欄	線量測定年月日	2019/8/8	測定者			測定器名	ICW				
	No.	保管物名	※カテゴリ			物 量	測定場所 雰囲気線量率	表面線量率	β・α 汚染の 有無	β + γ 線量率	
			①	②	③						
	1	金属ガラ	B	01	D	A	5 m ³	0.05 mSv/h	0.05 mSv/h	無	
	2						m ³				
3						m ³					
4						m ³					
5						m ³					
メモ	注: α 有、β α 有の場合、α 線量情報をここに記載のこと。										

固体廃棄物管理G記入欄				受付
受付番号				
廃2019	—	08	—	0095
調整後保管日時				2019年8月19日 10:00
【保管時の指示事項等】				

線量測定内容			
測定日	2019年8月19日		
測定No.	氏名	測定器	管理番号
1		ICW	F1-ICW-209
2			
3			
4			

保 管 実 績 記 入 欄	No.	枝番	保管物名	測定場所 雰囲気線量率	表面線量率	β + γ 線量率	保管場所	保管日時	物 量	再利用 減容可	コンテナNo.	測定No.
	1	1	金属ガラ①	5 μSv/h	5 μSv/h		エリアP1(屋外)	2019/8/19 9:55	4 m ³			1
									m ³			
									m ³			
									m ³			
メモ	* 線量測定は保管場所があらかじめ決まっている伐採木等は省略する。再利用/減容が可能と推測される場合、再利用:RU、減容:VRと記載。固体庫保管時はコンテナNo.記載											

※ カ テ ゴ リ	①	A	可燃物	01	紙・ウエス類	02	プラスチック・ポリビニール類	03	木材類	04	可燃物その他	05	—
				06	—	07	—	08	—	09	—	10	—
		B	不燃物	01	金属ガラ	02	コンクリートガラ	03	機器類・制御盤類	04	土砂類	05	塩化ビニール類
				06	保温材	07	石綿含有物	08	ケーブル類	09	アスファルトガラ	10	不燃物その他
				11	フランジタンク本体	12	フランジタンク付属品	13	石綿含有物(はつり屑等)	14	—	15	—
	②	状態	D:乾燥, W:湿気有	01	ゴム類	02	難燃シート類	03	ホース類	04	難燃物その他	05	—
	③	履歴	A:「1F構内にあった物」, B:「工事のために持ち込まれた物」	01	伐採木(幹・根)	02	伐採木(枝・葉)	03	—	04	—	05	—

注1: 可燃・難燃物は原則として透明袋に収納すること。注2: 伐採木の積み上げ高さは固体廃棄物管理Gの指示に従うこと。(最大で5m以下とする。)
 注3: 飛散抑制等必要な措置を講じ運搬し、保管エリアに応じた飛散防止(養生、容器収納等)を施し保管すること。注4: 塩化ビニール類については可燃・難燃側に持込みのこと。
 注5: β 汚染有の場合、表面線量率欄には「γ」のみの線量率を記載し、β + γ 線量率欄に「β + γ」の線量率を記載すること。β 汚染無の場合は、β + γ 線量率の記載不要。
 注6: コンテナで持ち込む場合は、保管物名欄またはメモ欄にコンテナNo. を記載すること。

瓦 礫 類 ・ 伐 採 木 管 理 票

計上No. 6013204 - 0011

作業 主 管 G 記 入 欄	保管希望日時	2019年8月19日		(月)	10:30	承認	審査	作成		
	作業件名	1～4号機T/B東側構内整備工事								
	発生場所	1/2号機新SB建屋(GI-22)								
	作業主管G	建築水対策グループ			監理員	TEL				
	元請会社				担当者	TEL				
	線量測定年月日	2019/8/8	測定者		測定器名	ICW	管理番号	F1-ICW-282		
メ モ	No.	保管物名			※カテゴリ	物 量	測定場所 雰囲気線量率	表面線量率	$\beta \cdot \alpha$ 汚染の有無	$\beta + \gamma$ 線量率
	1	金属ガラ	B	01	D	A	5 m ³	0.05 mSv/h	0.05 mSv/h	無
	2						m ³			
	3						m ³			
	4						m ³			
	5						m ³			
注: α 有、 $\beta \alpha$ 有の場合、 α 線量情報をここに記載のこと。										

固体廃棄物管理G記入欄				受付
受 付 番 号				
廃2019	—	08	—	0096
				2019/8/5
調整後保管日時		2019年8月19日		10:30
【保管時の指示事項等】				

線量測定内容				
測定日	2019年8月19日			
測定No.	氏名	測定器	管理番号	
1		ICW	F1-ICW-209	
2				
3				
4				

保管 実績 記入 欄	No.	枝 番	保 管 物 名	測定場所 雰囲気線量率	表面線量率	$\beta + \gamma$ 線量率	保管場所	保管日時	物 量	再利用 減容可	コンテナNo.	測定No.
	1	1	金属ガラ①	5 μ Sv/h	5 μ Sv/h		エリアPI(屋外)	2019/8/19 10:40	4 m ³			1
									m ³			
									m ³			
									m ³			
									m ³			

* 線量測定は保管場所があらかじめ決まっている伐採木等は省略する。再利用/減容が可能と推測される場合、再利用:RU、減容:VRと記載。固体庫保管時はコンテナNo.記載

メ モ	
--------	--

※カ テ ゴ リ	①	A	可 燃 物	01 紙・ウエス類	02 プラスチック・ホリ・ビニール類	03 木材類	04 可燃物その他	05	—	
				06 —	07 —	08 —	09 —	10 —		
		B	不 燃 物	01 金属ガラ	02 コンクリートガラ	03 機器類・制御盤類	04 土砂類	05 塩化ビニール類		
				06 保温材	07 石綿含有物	08 ケーブル類	09 アスファルトガラ	10 不燃物その他		
				11 フランジタンク本体	12 フランジタンク付属品	13 石綿含有物(はつり屑等)	14 —	15 —		
		C	難燃物	01 ゴム類	02 難燃シート類	03 ホース類	04 難燃物その他	05	—	
		D	伐 採 木	01 伐採木(幹・根)	02 伐採木(枝・葉)	03 —	04 —	05	—	
		②	状 態	D:乾燥, W:湿気有	③	履 歴	A:「1F構内にあった物」, B:「工事のために持ち込まれた物」			

注1: 可燃・難燃物は原則として透明袋に収納すること。注2: 伐採木の積み上げ高さは固体廃棄物管理Gの指示に従うこと。(最大で5m以下とする。)
 注3: 飛散抑制等必要な措置を講じ運搬し、保管エリアに応じた飛散防止(養生、容器収納等)を施し保管すること。注4: 塩化ビニール類については可燃・難燃側に持込みのこと。
 注5: β 汚染有の場合、表面線量率欄には「 γ 」のみの線量率を記載し、 $\beta + \gamma$ 線量率欄に「 $\beta + \gamma$ 」の線量率を記載すること。 β 汚染無の場合は、 $\beta + \gamma$ 線量率の記載不要。
 注6: コンテナで持ち込む場合は、保管物名欄またはメモ欄にコンテナNo. を記載すること。

瓦 礫 類 ・ 伐 採 木 管 理 票

計上No. 6010505 - 0002

作業 主 管 欄	保管希望日時	2019年8月21日		(水)	10:00		承認	審査	作成		
	作業件名	業務車									
	発生場所	構内車両整備工場					2019/8/6	2019/8/6	2019/8/6		
	作業主管G	資材物流グループ				監理員	TEL				
	元請会社					担当者	TEL				
G 記 入 欄	線量測定年月日	2019/8/2	測定者			測定器名	ICWBL		管理番号	148	
	No.	※カテゴリ				物 量	測定場所 雰囲気線量率		表面線量率	$\beta \cdot \alpha$ 汚染の有無	$\beta + \gamma$ 線量率
		①	②	③							
	1	フィルター	B	10	D	A	1 m	0.01 mSv/h	0.01 mSv/h	無	
	2	ガラス	B	10	D	A	0.1 m	0.01 mSv/h	0.01 mSv/h	無	
3	金属ガラ	B	01	D	A	4 m	0.01 mSv/h	0.01 mSv/h	無		
4						m					
5						m					
メモ	注: α 有、 $\beta \alpha$ 有の場合、 α 線量情報をここに記載のこと。										

固体廃棄物管理G記入欄				受付
受 付 番 号				
廃2019	—	08	—	0101
				2019/8/6
調整後保管日時		2019年8月21日		10:00
【保管時の指示事項等】				

線量測定内容				
測定日	2019年8月21日			
測定No.	氏名	測定器	管理番号	
1		ICWBL	F1-ICWBL-42	
2				
3				
4				

保管 実績 記 入 欄	No.	枝 番	保 管 物 名	測定場所 雰囲気線量率	表面線量率	$\beta + \gamma$ 線量率	保管場所	保管日時	物 量	再利用 ／ 減容可	コンテナNo.	測定No.
	1	1	フィルター②	5 μ Sv/h	5 μ Sv/h		エリアP1(屋外)	2019/8/21 9:00	1 m			1
	2	1	ガラス②	5 μ Sv/h	5 μ Sv/h		エリアP1(屋外)	2019/8/21 9:00	0.1 m			1
	3	1	金属ガラ①	5 μ Sv/h	5 μ Sv/h		エリアP1(屋外)	2019/8/21 9:00	4 m			1
									m			
									m			

* 線量測定は保管場所があらかじめ決まっている伐採木等は省略する。 再利用／減容が可能と推測される場合、再利用:RU、減容:VRと記載。固体庫保管時はコンテナNo.記載

メモ

※カ テ ゴ リ	①	A	可 燃 物	01	紙・ウェス類	02	プラスチック・ポリ・ビニール類	03	木材類	04	可燃物その他	05	—	
				06	—	07	—	08	—	09	—	10	—	
		B	不 燃 物	01	金属ガラ	02	コンクリートガラ	03	機器類・制御盤類	04	土砂類	05	塩化ビニール類	
				06	保温材	07	石綿含有物	08	ケーブル類	09	アスファルトガラ	10	不燃物その他	
				11	フランジタンク本体	12	フランジタンク付属品	13	石綿含有物(はつり屑等)	14	—	15	—	
		C	難燃物	01	ゴム類	02	難燃シート類	03	ホース類	04	難燃物その他	05	—	
				D	伐 採 木	01	伐採木(幹・根)	02	伐採木(枝・葉)	03	—	04	—	05
		②	状 態			D:乾燥, W:湿気有		③	履 歴	A:「1F構内にあった物」, B:「工事のために持ち込まれた物」				

注1: 可燃・難燃物は原則として透明袋に収納すること。 注2: 伐採木の積み上げ高さは固体廃棄物管理Gの指示に従うこと。(最大で5m以下とする。)

注3: 飛散抑制等必要な措置を講じ運搬し、保管エリアに応じた飛散防止(養生、容器収納等)を施し保管すること。 注4: 塩化ビニール類については可燃・難燃側に持込みのこと。

注5: β 汚染有の場合、表面線量率欄には「 γ 」のみの線量率を記載し、 $\beta + \gamma$ 線量率欄に「 $\beta + \gamma$ 」の線量率を記載すること。 β 汚染無の場合は、 $\beta + \gamma$ 線量率の記載不要。

注6: コンテナで持ち込む場合は、保管物名欄またはメモ欄にコンテナNo. を記載すること。

瓦 礫 類 ・ 伐 採 木 管 理 票

計上No. 6015501 - 0053

作業主管理	保管希望日時	2019年8月19日		(月)	10:00	承認	審査	作成		
	作業件名	5R RHRSポンプ他点検手入工事								
	発生場所	ヤード No.4資材倉庫東		点検エリア		2019/8/8	2019/8/2	2019/8/2		
	作業主管G	機械グループ		監理員		TEL				
	元請会社			担当者		TEL				
G	線量測定年月日	2019/7/25	測定者		測定器名	ICWBL		管理番号	F1-ICWBL-131	
	No.	※カテゴリ			物 量	測定場所 雰囲気線量率	表面線量率	β・α 汚染の有無	β + γ 線量率	
記入欄	1	紙・ウェス類	A	01	D	B	2 m ²	5 μSv/h	5 μSv/h	無
	2	ビニール袋・シート類	A	02	D	B	1 m ²	5 μSv/h	5 μSv/h	無
	3	木材(ベニヤ板・角材等)類	A	03	D	B	0.7 m ²	5 μSv/h	5 μSv/h	無
	4	皮手袋・ロープ類	A	04	D	B	0.5 m ²	5 μSv/h	5 μSv/h	無
	5	ゴム手・ゴムパッキン類	C	01	D	B	0.1 m ²	5 μSv/h	5 μSv/h	無
メモ	注: α有、β α有の場合、α線量情報をここに記載のこと。 引き取り希望: グリッドNo.GJ 17北西									

固体廃棄物管理G記入欄				受付
受 付 番 号				
廃2019	—	08	—	0102
				2019/8/6
調整後保管日時		2019年8月19日		10:00
【保管時の指示事項等】				
発生場所にて管理票の確認。 運搬車を配備致しますので 保管物の詰込みをお願いします。				

線量測定内容			
測定日	2019年8月19日		
測定No.	氏名	測定器	管理番号
1		ICW	F1-ICW-179
2			
3			
4			

保管実績	No.	枝番	保管物名	測定場所 雰囲気線量率	表面線量率	β + γ 線量率	保管場所	保管日時	物 量	再利用 減容可	コンテナNo.	測定No.
1	1	紙・ウェス類	2 μSv/h	2 μSv/h		エリアV(瓦礫類)	2019/8/19 9:30	0.4 m ²				1
2	1	ビニール袋・シート類	2 μSv/h	2 μSv/h		エリアV(瓦礫類)	2019/8/19 9:30	0.4 m ²				1
3	1	木材(ベニヤ板・角材等)類	2 μSv/h	2 μSv/h		エリアV(瓦礫類)	2019/8/19 9:30	0.2 m ²				1
4	1	皮手袋・ロープ類	2 μSv/h	2 μSv/h		エリアV(瓦礫類)	2019/8/19 9:30	0.5 m ²				1
5	1	ゴム手・ゴムパッキン類	2 μSv/h	2 μSv/h		エリアV(瓦礫類)	2019/8/19 9:30	0.05 m ²				1

*線量測定は保管場所があらかじめ決まっている伐採木等は省略する。 再利用/減容が可能と推測される場合、再利用:RU、減容:VRと記載。固体庫保管時はコンテナNo.記載

メモ	
----	--

※カテゴリー	①	A	可燃物	01	紙・ウェス類	02	プラスチック・ポリ・ビニール類	03	木材類	04	可燃物その他	05	—	
				06	—	07	—	08	—	09	—	10	—	
		B	不燃物	01	金属ガラ	02	コンクリートガラ	03	機器類・制御盤類	04	土砂類	05	塩化ビニール類	
				06	保温材	07	石綿含有物	08	ケーブル類	09	アスファルトガラ	10	不燃物その他	
				11	フランジタンク本体	12	フランジタンク付属品	13	石綿含有物(はつり屑等)	14	—	15	—	
		C	難燃物	01	ゴム類	02	難燃シート類	03	ホース類	04	難燃物その他	05	—	
				D	伐採木	01	伐採木(幹・根)	02	伐採木(枝・葉)	03	—	04	—	05
		②	状態			D:乾燥, W:湿気有	③	履歴	A:「1F構内にあった物」, B:「工事のために持ち込まれた物」					

注1: 可燃・難燃物は原則として透明袋に収納すること。 注2: 伐採木の積み上げ高さは固体廃棄物管理Gの指示に従うこと。(最大で5m以下とする。)

注3: 飛散抑制等必要な措置を講じ運搬し、保管エリアに応じた飛散防止(養生、容器収納等)を施し保管すること。 注4: 塩化ビニール類については可燃・難燃側に持込みのこと。

注5: β汚染有の場合、表面線量率欄には「γ」のみの線量率を記載し、β + γ線量率欄に「β + γ」の線量率を記載すること。β汚染無の場合は、β + γ線量率の記載不要。

注6: コンテナで持ち込む場合は、保管物名欄またはメモ欄にコンテナNo. を記載すること。

瓦礫類・伐採木管理票（別紙）

作業 主管 G 記入欄	No.	保管物名	※カテゴリ			物 量		測定場所 雰囲気線量率	表面線量率		$\beta \cdot \alpha$ 汚染の有無	$\beta + \gamma$ 線量率		
			①	②	③									
	6	難燃シート	C	02	D	B	0.1	m ²	5	μ Sv/h	5	μ Sv/h	無	
	7	ゴムホース	C	04	D	B	0.02	m ²	5	μ Sv/h	5	μ Sv/h	無	
	8						m ²							
	9						m ²							
	10						m ²							

固体廃棄物管理G記入欄					
受付番号	廃2019	—	08	—	0102

保管 実績 記録 記入 欄	No.	枝 番	保 管 物 名	測定場所 雰囲気線量率		表面線量率		$\beta + \gamma$ 線量率		保管場所	保管日時	物 量		再利用 ／ 減容可	コンテナNo.	測定No.
				2	μ Sv/h	2	μ Sv/h					0.1	m ³			
	6	1	難燃シート	2	μ Sv/h	2	μ Sv/h			エリアV(瓦礫類)	2019/8/19 9:30	0.1	m ³			1
													m ³			
													m ³			
													m ³			
													m ³			
													m ³			
													m ³			
													m ³			
													m ³			
													m ³			
													m ³			
													m ³			
													m ³			
													m ³			
													m ³			
													m ³			
													m ³			

* 線量測定は保管場所があらかじめ決まっている伐採木等は省略する。 再利用／減容が可能と推測される場合、再利用:RU、減容:VRと記載。固体庫保管時はコンテナNo.記載

※カテゴリー	①	A	可燃物	01	紙・ウエス類	02	プラスチック・ホリ・ビニール類	03	木材類	04	可燃物その他	05	—
				06	—	07	—	08	—	09	—	10	—
		B	不燃物	01	金属ガラ	02	コンクリートガラ	03	機器類・制御盤類	04	土砂類	05	塩化ビニール類
				06	保温材	07	石綿含有物	08	ケーブル類	09	アスファルトガラ	10	不燃物その他
				11	フランジタンク本体	12	フランジタンク付属品	13	石綿含有物(はつり屑等)	14	—	15	—
		C	難燃物	01	ゴム類	02	難燃シート類	03	ホース類	04	難燃物その他	05	—
				D	伐採木	01	伐採木(幹・根)	02	伐採木(枝・葉)	03	—	04	—
		②	状態			D:乾燥, W:湿気有		③	履歴	A:「1F構内にあった物」, B:「工事のために持ち込まれた物」			

注1:可燃・難燃物は原則として透明袋に収納すること。注2:伐採木の積み上げ高さは固体廃棄物管理Gの指示に従うこと。(最大で5m以下とする。)
注3:飛散抑制等必要な措置を講じ運搬し、保管エリアに応じた飛散防止(養生、容器収納等)を施し保管すること。注4:塩化ビニール類については可燃・難燃側に持込みのこと。
注5:β汚染有の場合、表面線量率欄には「γ」のみの線量率を記載し、β+γ線量率欄に「β+γ」の線量率を記載すること。β汚染無の場合は、β+γ線量率の記載不要。
注6:コンテナで持ち込む場合は、保管物名欄またはメモ欄にコンテナNo. を記載すること。

瓦 礫 類 ・ 伐 採 木 管 理 票

計上No. 6015501 - 0053

作 業 主 管 G 記 入 欄	保管希望日時	2019年8月19日		(月)	10:30	承認	審査	作成	
	作業件名	5R RHRSポンプ他点検手入工事							
	発生場所	ヤード No.4資材倉庫東		点検エリア		2019/8/6	2019/8/2	2019/8/2	
	作業主管G	機械グループ		監理員		TEL			
	元請会社			担当者		TEL			
	線量測定年月日	2019/7/25	測定者		測定器名	ICWBL	管理番号	F1-ICWBL-131	
	No.	※カテゴリ			物 量	測定場所 雰囲気線量率	表面線量率	β・α 汚染の有無	
		①	②	③				β + γ 線量率	
	1	金属ガラ	B 01	D A	1 m ²	5 μSv/h	5 μSv/h	無	
	2	保温材	B 06	D A	0.01 m ²	5 μSv/h	5 μSv/h	無	
	3	コーキングカートリッジ他	B 10	D B	0.1 m ²	5 μSv/h	5 μSv/h	無	
	4	スラッジ類	B 10	D A	0.05 m ²	5 μSv/h	5 μSv/h	無	
	5	アース線、ケーブル類	B 08	D A	0.02 m ²	5 μSv/h	5 μSv/h	無	
メモ	注: α 有、β α 有の場合、α 線量情報をここに記載のこと。								

固体廃棄物管理G記入欄				受付
受 付 番 号				
廃2019	—	08	—	0103
調整後保管日時				2019年8月19日 10:30
【保管時の指示事項等】				

線量測定内容			
測定日	2019年8月19日		
測定No.	氏名	測定器	管理番号
1		ICWBL	F1-ICWBL-42
2			
3			
4			

保管実績記入欄	No.	枝番	保管物名	測定場所 雰囲気線量率	表面線量率	β + γ 線量率	保管場所	保管日時	物 量	再利用 減容可	コンテナNo.	測定No.
1	1	金属ガラ①	5 μSv/h	5 μSv/h		エリアP1(屋外)	2019/8/19 10:20	1 m ²				1
2	1	保温材②	5 μSv/h	5 μSv/h		エリアP1(屋外)	2019/8/19 10:20	0.01 m ²				1
3	1	コーキングカートリッジ他②	5 μSv/h	5 μSv/h		エリアP1(屋外)	2019/8/19 10:20	0.01 m ²				1
4	1	スラッジ類②	5 μSv/h	5 μSv/h		エリアP1(屋外)	2019/8/19 10:20	0.05 m ²				1
5	1	アース線、ケーブル類①	5 μSv/h	5 μSv/h		エリアP1(屋外)	2019/8/19 10:20	0.05 m ²				1

* 線量測定は保管場所があらかじめ決まっている伐採木等は省略する。再利用／減容が可能と推測される場合、再利用:RU、減容:VRと記載。固体庫保管時はコンテナNo.記載

メモ	
----	--

※カテゴリー	①	A	可燃物	01	紙・ウエス類	02	プラスチック・ポリ・ビニール類	03	木材類	04	可燃物その他	05	—	
				06	—	07	—	08	—	09	—	10	—	
		B	不燃物	01	金属ガラ	02	コンクリートガラ	03	機器類・制御盤類	04	土砂類	05	塩化ビニール類	
				06	保温材	07	石綿含有物	08	ケーブル類	09	アスファルトガラ	10	不燃物その他	
				11	フランジタンク本体	12	フランジタンク付属品	13	石綿含有物(はつり屑等)	14	—	15	—	
		C	難燃物	01	ゴム類	02	難燃シート類	03	ホース類	04	難燃物その他	05	—	
				D	伐採木	01	伐採木(幹・根)	02	伐採木(枝・葉)	03	—	04	—	05
		②	状態			D:乾燥, W:湿気有		③	履歴	A:「1F構内にあった物」, B:「工事のために持ち込まれた物」				

注1: 可燃・難燃物は原則として透明袋に収納すること。注2: 伐採木の積み上げ高さは固体廃棄物管理Gの指示に従うこと。(最大で5m以下とする。)

注3: 飛散抑制等必要な措置を講じ運搬し、保管エリアに応じた飛散防止(養生、容器収納等)を施し保管すること。注4: 塩化ビニール類については可燃・難燃側に持込みのこと。

注5: β 汚染有の場合、表面線量率欄には「γ」のみの線量率を記載し、β + γ 線量率欄に「β + γ」の線量率を記載すること。β 汚染無の場合は、β + γ 線量率の記載不要。

注6: コンテナで持ち込む場合は、保管物名欄またはメモ欄にコンテナNo. を記載すること。

瓦礫類・伐採木管理票（別紙）

作業 主管 G 記入欄	No.	保管物名	※カテゴリ			物 量	測定場所 雰囲気線量率	表面線量率	$\beta \cdot \alpha$ 汚染の有無	$\beta + \gamma$ 線量率		
			①	②	③							
	6	軸受	B	10	D	A	0.05 m ²	5 μ Sv/h	5 μ Sv/h	無		
	7	亜鉛棒、亜鉛坂、亜鉛リング	B	10	D	A	0.5 m ²	5 μ Sv/h	5 μ Sv/h	無		
	8						m ²					
	9						m ²					
	10						m ²					

固体廃棄物管理G記入欄					
受付番号	廃2019	—	08	—	0103

[illegible]

※カテゴリ	①	A	可燃物	01	紙・ウエス類	02	プラスチック・ポリ・ビニール類	03	木材類	04	可燃物その他	05	—	
				06	—	07	—	08	—	09	—	10	—	
		B	不燃物	01	金属ガラ	02	コンクリートガラ	03	機器類・制御盤類	04	土砂類	05	塩化ビニール類	
				06	保温材	07	石綿含有物	08	ケーブル類	09	アスファルトガラ	10	不燃物その他	
				11	フランジタンク本体	12	フランジタンク付属品	13	石綿含有物(はつり屑等)	14	—	15	—	
		C	難燃物	01	ゴム類	03	難燃シート類	04	難燃物その他	05	—			
				D	伐採木	01	伐採木(幹・根)	02	伐採木(枝・葉)	03	—	04	—	05
		②	状態			D:乾燥, W:湿気有	③	履歴	A:「1F構内にあった物」, B:「工事のために持ち込まれた物」					

注1:可燃・難燃物は原則として透明袋に収納すること。注2:伐採木の積み上げ高さは固体廃棄物管理Gの指示に従うこと。(最大で5m以下とする。)
注3:飛散抑制等必要な措置を講じ運搬し、保管エリアに応じた飛散防止(養生、容器収納等)を施し保管すること。注4:塩化ビニール類については可燃・難燃側に持込みのこと。
注5:β汚染有の場合、表面線量率欄には「γ」のみの線量率を記載し、β+γ線量率欄に「β+γ」の線量率を記載すること。β汚染無の場合は、β+γ線量率の記載不要。
注6:コンテナで持ち込む場合は、保管物名欄またはメモ欄にコンテナNo. を記載すること。

瓦 礫 類 ・ 伐 採 木 管 理 票

計上No. 6013708 - 0050

作業 主 管 G 記 入 欄	保管希望日時	2019年8月21日		(水)	8:30		承認	審査	作成	
	作業件名	Bエリアタンク設置工事								
	発生場所	H2エリア					2019/8/6	2019/8/6	2019/8/6	
	作業主管G	貯留設備グループ			監理員			TEL		
	元請会社				担当者			TEL		
	線量測定年月日	2019/8/6		測定者			測定器名	ICW		
	No.	保管物名			※カテゴリ	物 量	測定場所 雰囲気線量率	表面線量率	β・α 汚染の有無	β+γ 線量率
	1	番線			B 01 D B	1 m	1 μSv/h	1 μSv/h	無	
	2	ワイヤーシャックル			B 01 D B	1 m	1 μSv/h	1 μSv/h	無	
	3	コンクリート殻			B 02 D A	0.1 m	1 μSv/h	1 μSv/h	無	
	4					m				
	5					m				
メモ	注: α有、β α有の場合、α線量情報をここに記載のこと。									

固体廃棄物管理G記入欄				受付
受 付 番 号				
廃2019	—	08	—	0105
				2019/8/6
調整後保管日時		2019年8月21日		8:30
【保管時の指示事項等】				

線量測定内容				
測定日	2019年8月21日			
測定No.	氏名	測定器	管理番号	
1		ICW	F1-ICW-209	
2				
3				
4				

保管 実績 記 入 欄	No.	枝 番	保 管 物 名	測定場所 雰囲気線量率	表面線量率	β+γ 線量率	保管場所	保管日時	物 量	再利用 減容可	コンテナNo.	測定No.
	1	1	番線①	5 μSv/h	5 μSv/h		エリアP1(屋外)	2019/8/21 8:20	0.5 m			1
	2	1	ワイヤーシャックル①	5 μSv/h	5 μSv/h		エリアP1(屋外)	2019/8/21 8:20	0.5 m			1
	3	1	コンクリート殻①	5 μSv/h	5 μSv/h		エリアC	2019/8/21 8:20	0.1 m			1
									m			
									m			

*線量測定は保管場所があらかじめ決まっている伐採木等は省略する。再利用/減容が可能と推測される場合、再利用:RU、減容:VRと記載。固体庫保管時はコンテナNo.記載

メモ	
----	--

※カ テ ゴ リ	①	A	可 燃 物	01	紙・ウェス類	02	プラスチック・ポリ・ビニール類	03	木材類	04	可燃物その他	05	—	
				06	—	07	—	08	—	09	—	10	—	
		B	不 燃 物	01	金属ガラ	02	コンクリートガラ	03	機器類・制御盤類	04	土砂類	05	塩化ビニール類	
				06	保温材	07	石綿含有物	08	ケーブル類	09	アスファルトガラ	10	不燃物その他	
				11	フランジタンク本体	12	フランジタンク付属品	13	石綿含有物(はつり屑等)	14	—	15	—	
		C	難 燃 物	01	ゴム類	02	難燃シート類	03	ホース類	04	難燃物その他	05	—	
				D	伐 採 木	01	伐採木(幹・根)	02	伐採木(枝・葉)	03	—	04	—	05
		②	状 態			D:乾燥, W:湿気有		③	履 歴	A:「1F構内にあった物」, B:「工事のために持ち込まれた物」				

注1:可燃・難燃物は原則として透明袋に収納すること。注2:伐採木の積み上げ高さは固体廃棄物管理Gの指示に従うこと。(最大で5m以下とする。)
 注3:飛散抑制等必要な措置を講じ運搬し、保管エリアに応じた飛散防止(養生、容器収納等)を施し保管すること。注4:塩化ビニール類については可燃・難燃側に持込みのこと。
 注5:β汚染有の場合、表面線量率欄には「γ」のみの線量率を記載し、β+γ線量率欄に「β+γ」の線量率を記載すること。β汚染無の場合は、β+γ線量率の記載不要。
 注6:コンテナで持ち込む場合は、保管物名欄またはメモ欄にコンテナNo.を記載すること。

瓦 礫 類 ・ 伐 採 木 管 理 票

計上No. 6013708 - 0050

作 業 主 管 G 記 入 欄	保管希望日時	2019年8月22日		(木)	8:30		承認	審査	作成	
	作業件名	Bエリアタンク設置工事								
	発生場所	H2エリア								
	作業主管G	貯留設備グループ				監理員	TEL			
	元請会社					担当者	TEL			
	線量測定年月日	2019/8/6		測定者			測定器名	ICW		
	No.	※カテゴリ			物 量	測定場所 雰囲気線量率	表面線量率	$\beta \cdot \alpha$ 汚染の有無	$\beta + \gamma$ 線量率	
	1	空き缶(コーキング付着有)	B	10	D	B	1 m ²	1 μ Sv/h	1 μ Sv/h	無
	2	不燃シート	B	10	D	B	1 m ²	1 μ Sv/h	1 μ Sv/h	無
	3						m ²			
	4						m ²			
	5						m ²			
メモ	注: α 有、 $\beta \alpha$ 有の場合、 α 線量情報をここに記載のこと。									

固体廃棄物管理G記入欄				受付
受 付 番 号				
廃2019	—	08	—	0106
				2019/8/6
調整後保管日時		2019年8月22日		8:30
【保管時の指示事項等】				

線量測定内容			
測定日	2019年8月22日		
測定No.	氏名	測定器	管理番号
1		ICW	F1-ICW-209
2			
3			
4			

保管実績記入欄	No.	枝番	保管物名	測定場所 雰囲気線量率	表面線量率	$\beta + \gamma$ 線量率	保管場所	保管日時	物 量	再利用 減容可	コンテナNo.	測定No.
	1	1	空き缶(コーキング付着有) ②	5 μ Sv/h	5 μ Sv/h		エリアP1(屋外)	2019/8/22 8:45	0.3 m ²			1
	2	1	不燃シート ②	5 μ Sv/h	5 μ Sv/h		エリアP1(屋外)	2019/8/22 8:45	1 m ²			1
									m ²			
									m ²			
									m ²			

* 線量測定は保管場所があらかじめ決まっている伐採木等は省略する。再利用/減容が可能と推測される場合、再利用:RU、減容:VRと記載。固体庫保管時はコンテナNo.記載

メモ	
----	--

※カテゴリ	①	A	可燃物	01 紙・ウエス類	02 プラスチック・ポリ・ビニール類	03 木材類	04 可燃物その他	05 —
				06 —	07 —	08 —	09 —	10 —
		B	不燃物	01 金属ガラ	02 コンクリートガラ	03 機器類・制御盤類	04 土砂類	05 塩化ビニール類
				06 保温材	07 石綿含有物	08 ケーブル類	09 アスファルトガラ	10 不燃物その他
②	状態	D:乾燥, W:湿気有	③	履歴	11 フランジタンク本体	12 フランジタンク付属品	13 石綿含有物(はつり屑等)	14 —
					01 ゴム類	02 難燃シート類	03 ホース類	04 難燃物その他
					01 伐採木(幹・根)	02 伐採木(枝・葉)	03 —	04 —
								05 —

注1: 可燃・難燃物は原則として透明袋に収納すること。注2: 伐採木の積み上げ高さは固体廃棄物管理Gの指示に従うこと。(最大で5m以下とする。)
 注3: 飛散抑制等必要な措置を講じ運搬し、保管エリアに応じた飛散防止(養生、容器収納等)を施し保管すること。注4: 塩化ビニール類については可燃・難燃側に持込みのこと。
 注5: β 汚染有の場合、表面線量率欄には「 γ 」のみの線量率を記載し、 $\beta + \gamma$ 線量率欄に「 $\beta + \gamma$ 」の線量率を記載すること。 β 汚染無の場合は、 $\beta + \gamma$ 線量率の記載不要。
 注6: コンテナで持ち込む場合は、保管物名欄またはメモ欄にコンテナNo. を記載すること。

瓦 礫 類 ・ 伐 採 木 管 理 票

計上No. 6013203 - 0016

作業 主 管 G 記 入 欄	保管希望日時	2019年8月21日		(水)	9:00		承認	審査	作成		
	作業件名	サブドレン強化対策工事(旧名称:1~4号機サブドレン改造工事)									
	発生場所	1~4号機R/B西側・集水タンクエリア					2019/8/6	2019/8/6	2019/8/6		
	作業主管G	建築水対策グループ			監理員		TEL				
	元請会社				担当者		TEL				
	線量測定年月日	2019/7/30	測定者		測定器名	ICWBL	管理番号	F1-ICWBL-127			
メ モ	No.	保管物名				※カテゴリ	物 量	測定場所 雰囲気線量率	表面線量率	$\beta + \alpha$ 汚染の有無	$\beta + \gamma$ 線量率
		①	②	③							
	1	金属ガラ	B	01	D	B	1 m ³	7 μ Sv/h	7 μ Sv/h	無	
	2	不燃物その他	B	10	W	B	2 m ³	7 μ Sv/h	7 μ Sv/h	無	
	3	汚泥	B	04	W	B	1 m ³	7 μ Sv/h	7 μ Sv/h	無	
	4	ケーブル	B	08	D	B	0.1 m ³	7 μ Sv/h	7 μ Sv/h	無	
5	ゴム類	C	01	D	B	0.1 m ³	7 μ Sv/h	7 μ Sv/h	無		
注: α 有、 β α 有の場合、 α 線量情報をここに記載のこと。											

固体廃棄物管理G記入欄				受付
受付番号				
廃2019	—	08	—	0107
				2019/8/6
調整後保管日時		2019年8月21日		9:00
【保管時の指示事項等】				

線量測定内容				
測定日	2019年8月21日			
測定No.	氏名	測定器	管理番号	
1		ICWBL	F1-ICWBL-42	
2		ICW	F1-ICW-179	
3				
4				

保管 実績 記 入 欄	No.	枝番	保管物名	測定場所 雰囲気線量率	表面線量率	$\beta + \gamma$ 線量率	保管場所	保管日時	物 量	再利用 減容可	コンテナNo.	測定No.
	1	1	金属ガラ①	5 μ Sv/h	5 μ Sv/h		エリアP1(屋外)	2019/8/21 8:15	1 m ³			1
	2	1	不燃物その他②	5 μ Sv/h	5 μ Sv/h		エリアP1(屋外)	2019/8/21 8:15	2 m ³			1
	3	1	汚泥②	5 μ Sv/h	5 μ Sv/h		エリアP1(屋外)	2019/8/21 8:15	1 m ³			1
	4	1	ケーブル①	5 μ Sv/h	5 μ Sv/h		エリアP1(屋外)	2019/8/21 8:15	0.1 m ³			1
	5	1	ゴム類	2 μ Sv/h	2 μ Sv/h		エリアO	2019/8/21 8:40	0.05 m ³			2
* 線量測定は保管場所があらかじめ決まっている伐採木等は省略する。 再利用/減容が可能と推測される場合、再利用:RU、減容:VRと記載。固体庫保管時はコンテナNo.記載												
メ モ												

※カテゴリー	①	A	可燃物	01	紙・ウエス類	02	プラスチック・ポリ・ビニール類	03	木材類	04	可燃物その他	05	—
				06	—	07	—	08	—	09	—	10	—
		B	不燃物	01	金属ガラ	02	コンクリートガラ	03	機器類・制御盤類	04	土砂類	05	塩化ビニール類
				06	保温材	07	石綿含有物	08	ケーブル類	09	アスファルトガラ	10	不燃物その他
				11	フランジタンク本体	12	フランジタンク付属品	13	石綿含有物(はつり屑等)	14	—	15	—
		C	難燃物	01	ゴム類	02	難燃シート類	03	ホース類	04	難燃物その他	05	—
				D	伐採木	01	伐採木(幹・根)	02	伐採木(枝・葉)	03	—	04	—
		②	状態			D:乾燥, W:湿気有		③	履歴	A:「1F構内にあった物」, B:「工事のために持ち込まれた物」			

注1: 可燃・難燃物は原則として透明袋に収納すること。 注2: 伐採木の積み上げ高さは固体廃棄物管理Gの指示に従うこと。(最大で5m以下とする。)

注3: 飛散抑制等必要な措置を講じ運搬し、保管エリアに応じた飛散防止(養生、容器収納等)を施し保管すること。 注4: 塩化ビニール類については可燃・難燃側に持込みのこと。

注5: β 汚染有の場合、表面線量率欄には「 γ 」のみの線量率を記載し、 $\beta + \gamma$ 線量率欄に「 $\beta + \gamma$ 」の線量率を記載すること。 β 汚染無の場合は、 $\beta + \gamma$ 線量率の記載不要。

注6: コンテナで持ち込む場合は、保管物名欄またはメモ欄にコンテナNo. を記載すること。

瓦礫類・伐採木管理票（別紙）

作業主 管 G 記 入 欄	No.	保管物名	※カテゴリ			物 量	測定場所 雰囲気線量率	表面線量率	$\beta + \alpha$ 汚染の有無	$\beta + \gamma$ 線量率
			①	②	③					
6	木材	A	03	D	B	0.5 m ³	7 μ Sv/h	7 μ Sv/h	無	
7						m ³				
8						m ³				
9						m ³				
10						m ³				

固体廃棄物管理G記入欄				
受付番号	廃2019	—	08	— 0107

保 管 実 績 記 入 欄	No.	枝 番	保管物名	測定場所 雰囲気線量率		表面線量率		$\beta + \gamma$ 線量率		保管場所	保管日時	物 量		再利用 ／ 減容可	コンテナNo.	測定No.
6	1	木材	2	μ Sv/h	2	μ Sv/h				エリアO	2019/8/21 8:40	0.5 m ³				2
												m ³				
												m ³				
												m ³				
												m ³				
												m ³				
												m ³				
												m ³				
												m ³				
												m ³				
												m ³				
												m ³				
												m ³				
												m ³				
												m ³				
												m ³				

* 線量測定は保管場所があらかじめ決まっている伐採木等は省略する。 再利用／減容が可能と推測される場合、再利用:RU、減容:VRと記載。固体庫保管時はコンテナNo.記載

※カテゴリー	①	A	可燃物	01	紙・ウエス類	02	プラスチック・ホリ・ビニール類	03	木材類	04	可燃物その他	05	—
				06	—	07	—	08	—	09	—	10	—
		B	不燃物	01	金属ガラ	02	コンクリートガラ	03	機器類・制御盤類	04	土砂類	05	塩化ビニール類
				06	保温材	07	石綿含有物	08	ケーブル類	09	アスファルトガラ	10	不燃物その他
				11	フランジタンク本体	12	フランジタンク付属品	13	石綿含有物(はつり屑等)	14	—	15	—
		C	難燃物	01	ゴム類	02	難燃シート類	03	ホース類	04	難燃物その他	05	—
				01	伐採木(幹・根)	02	伐採木(枝・葉)	03	—	04	—	05	—
		D	伐採木	01	伐採木(幹・根)	02	伐採木(枝・葉)	03	—	04	—	05	—
				01	伐採木(幹・根)	02	伐採木(枝・葉)	03	—	04	—	05	—
		②	状態	D:乾燥, W:湿気有		③	履歴	A:「1F構内にあった物」, B:「工事のために持ち込まれた物」					

注1:可燃・難燃物は原則として透明袋に収納すること。 注2:伐採木の積み上げ高さは固体廃棄物管理Gの指示に従うこと。(最大で5m以下とする。)
 注3:飛散抑制等必要な措置を講じ運搬し、保管エリアに応じた飛散防止(養生、容器収納等)を施し保管すること。 注4:塩化ビニール類については可燃・難燃側に持込みのこと。
 注5: β 汚染有の場合、表面線量率欄には「 γ 」のみの線量率を記載し、 $\beta + \gamma$ 線量率欄に「 $\beta + \gamma$ 」の線量率を記載すること。 β 汚染無の場合は、 $\beta + \gamma$ 線量率の記載不要。
 注6:コンテナで持ち込む場合は、保管物名欄またはメモ欄にコンテナNo. を記載すること。

瓦 礫 類 ・ 伐 採 木 管 理 票

計上No. 6013803 - 0028

作 業 主 管 G 記 入 欄 メ モ	保管希望日時	2019年8月19日		(月)	8:00		承認	審査	作成	
	作業件名	G4エリアタンク基礎他設置工事並びに関連除却工事								
	発生場所	G4南エリア								
	作業主管G	貯留設備土木グループ				監理員	TEL			
	元請会社					担当者	TEL			
	線量測定年月日	2019/8/6	測定者			測定器名	ICWBL		管理番号	F1-KWBL-87
	No.	保管物名			※カテゴリ	物 量	測定場所 雰囲気線量率	表面線量率	β・α 汚染の有無	β+γ 線量率
	1	コンクリートガラ			① ② ③	5 m ³	0.001 mSv/h	0.001 mSv/h	無	
	2					m ³				
	3					m ³				
	4					m ³				
	5					m ³				
メ モ	注:10tダンプ車にて持参します。									

固体廃棄物管理G記入欄				受付
受 付 番 号				
廃2019	—	08	—	0110
				2019/8/7
調整後保管日時		2019年8月19日		8:00
【保管時の指示事項等】				

線量測定内容			
測定日	2019年8月19日		
測定No.	氏名	測定器	管理番号
1		ICWBL	F1-ICWBL-42
2			
3			
4			

保管実績記入欄	No.	枝番	保管物名	測定場所 雰囲気線量率	表面線量率	β+γ 線量率	保管場所	保管日時	物 量	再利用 減容可	コンテナNo.	測定No.
	1	1	コンクリートガラ ①	5 μSv/h	5 μSv/h		エリアC	2019/8/19 8:05	5 m ³			1
									m ³			
									m ³			
									m ³			
									m ³			

* 線量測定は保管場所があらかじめ決まっている伐採木等は省略する。 再利用/減容が可能と推測される場合、再利用:RU、減容:VRと記載。固体庫保管時はコンテナNo.記載

メ
モ

※カテ ゴリ	①	A	可 燃 物	01 紙・ウエス類	02 プラスチック・ホリ・ビニール類	03 木材類	04 可燃物その他	05	—	
				06 —	07 —	08 —	09 —	10 —		
		B	不 燃 物	01 金属ガラ	02 コンクリートガラ	03 機器類・制御盤類	04 土砂類	05	塩化ビニール類	
				06 保温材	07 石綿含有物	08 ケーブル類	09 アスファルトガラ	10	不燃物その他	
				11 フランジタンク本体	12 フランジタンク付属品	13 石綿含有物(はつり屑等)	14 —	15	—	
		C	難燃物	01 ゴム類	02 難燃シート類	03 ホース類	04 難燃物その他	05	—	
				D	伐 採 木	01 伐採木(幹・根)	02 伐採木(枝・葉)	03 —	04 —	05
		②	状 態			D:乾燥, W:湿気有	③	履 歴	A:「1F構内にあった物」, B:「工事のために持ち込まれた物」	

注1:可燃・難燃物は原則として透明袋に収納すること。 注2:伐採木の積み上げ高さは固体廃棄物管理Gの指示に従うこと。(最大で5m以下とする。)

注3:飛散抑制等必要な措置を講じ運搬し、保管エリアに応じた飛散防止(養生、容器収納等)を施し保管すること。 注4:塩化ビニール類については可燃・難燃側に持込みのこと。

注5:β汚染有の場合、表面線量率欄には「γ」のみの線量率を記載し、β+γ線量率欄に「β+γ」の線量率を記載すること。β汚染無の場合は、β+γ線量率の記載不要。

注6:コンテナで持ち込む場合は、保管物名欄またはメモ欄にコンテナNo.を記載すること。

瓦 礫 類 ・ 伐 採 木 管 理 票

計上No. 6013803 - 0028

作業 主 管 G 記 入 欄	保管希望日時	2019年8月19日		(月)	9:00		承認	審査	作成	
	作業件名	G4エリアタンク基礎他設置工事並びに関連除却工事								
	発生場所	G4南エリア						2019/8/7	2019/8/7	
	作業主管G	貯留設備土木グループ				監理員		TEL		
	元請会社					担当者		TEL		
	線量測定年月日	2019/8/6	測定者		測定器名	ICWBL	管理番号	F1-KWBL-87		
	No.	※カテゴリ			物 量	測定場所 雰囲気線量率	表面線量率	$\beta \cdot \alpha$ 汚染の有無	$\beta + \gamma$ 線量率	
	1	コンクリートガラ	B	02	D	B	5 m ³	0.001 mSv/h	0.001 mSv/h	無
	2						m ³			
	3						m ³			
	4						m ³			
	5						m ³			
メモ	注:10tダンプ車にて持参します。									

固体廃棄物管理G記入欄				受付
受 付 番 号				
廃2019	—	08	—	0111
				2019/8/7
調整後保管日時		2019年8月19日		9:00
【保管時の指示事項等】				

線量測定内容			
測定日	2019年8月19日		
測定No.	氏名	測定器	管理番号
1		ICWBL	F1-ICWBL-42
2			
3			
4			

保管 実績 記入 欄	No.	枝 番	保 管 物 名	測定場所 雰囲気線量率	表面線量率	$\beta + \gamma$ 線量率	保管場所	保管日時	物 量	再利用 減容可	コンテナNo.	測定No.
	1	1	コンクリートガラ ①	5 μ Sv/h	5 μ Sv/h		エリアC	2019/8/19 9:15	5 m ³			1
									m ³			
									m ³			
									m ³			
									m ³			

* 線量測定は保管場所があらかじめ決まっている伐採木等は省略する。再利用／減容が可能と推測される場合、再利用:RU、減容:VRと記載。固体庫保管時はコンテナNo.記載

メモ

※カ テ ゴ リ	①	A	可 燃 物	01 紙・ウエス類	02 プラスチック・ホリ・ビニール類	03 木材類	04 可燃物その他	05	—		
				06 —	07 —	08 —	09 —	10	—		
		B	不 燃 物	01 金属ガラ	02 コンクリートガラ	03 機器類・制御盤類	04 土砂類	05	塩化ビニール類		
				06 保温材	07 石綿含有物	08 ケーブル類	09 アスファルトガラ	10	不燃物その他		
				11 フランジタンク本体	12 フランジタンク付属品	13 石綿含有物(はつり屑等)	14	—	15	—	
		C	難燃物	01 ゴム類	02 難燃シート類	03 ホース類	04 難燃物その他	05	—		
		D	伐採木	01 伐採木(幹・根)	02 伐採木(枝・葉)	03	—	04	—	05	—
		②	状 態	D:乾燥, W:湿気有	③	履 歴	A:「1F構内にあった物」, B:「工事のために持ち込まれた物」				

注1:可燃・難燃物は原則として透明袋に収納すること。注2:伐採木の積み上げ高さは固体廃棄物管理Gの指示に従うこと。(最大で5m以下とする。)

注3:飛散抑制等必要な措置を講じ運搬し、保管エリアに応じた飛散防止(養生、容器収納等)を施し保管すること。注4:塩化ビニール類については可燃・難燃側に持込みのこと。

注5: β 汚染有の場合、表面線量率欄には「 γ 」のみの線量率を記載し、 $\beta + \gamma$ 線量率欄に「 $\beta + \gamma$ 」の線量率を記載すること。 β 汚染無の場合は、 $\beta + \gamma$ 線量率の記載不要。

注6:コンテナで持ち込む場合は、保管物名欄またはメモ欄にコンテナNo.を記載すること。

瓦 礫 類 ・ 伐 採 木 管 理 票

計上No. 6013803 - 0028

作業主管理	保管希望日時	2019年8月19日		(月)	10:00	承認	審査	作成	
	作業件名	G4エリアタンク基礎他設置工事並びに関連除却工事							
	発生場所	G4南エリア					2019/8/7	2019/8/7	2019/8/7
	作業主管G	貯留設備土木グループ			監理員		TEL		
	元請会社				担当者		TEL		
線量測定年月日	2019/8/6	測定者		測定器名	ICWBL	管理番号	F1-KWBL-87		
	No.	※カテゴリ			物 量	測定場所 雰囲気線量率	表面線量率	$\beta + \gamma$ 線量率	
		①	②	③					
	1	コンクリートガラ	B	02	D	B	5 m ³	0.001 mSv/h	0.001 mSv/h
	2						m ³		
3						m ³			
4						m ³			
5						m ³			
メモ	注:10tダンプ車にて持参します。								

固体廃棄物管理G記入欄				受付
受 付 番 号				
廃2019	—	08	—	0112
				2019/8/7
調整後保管日時		2019年8月19日		10:00
【保管時の指示事項等】				

線量測定内容			
測定日	2019年8月19日		
測定No.	氏名	測定器	管理番号
1		ICWBL	F1-ICWBL-42
2			
3			
4			

保管実績記入欄	No.	枝番	保管物名	測定場所 雰囲気線量率	表面線量率	$\beta + \gamma$ 線量率	保管場所	保管日時	物 量	再利用 減容可	コンテナNo.	測定No.
	1	1	コンクリートガラ①	5 μ Sv/h	5 μ Sv/h		エリアC	2019/8/19 10:30	3 m ³			1
									m ³			
									m ³			
									m ³			
									m ³			

* 線量測定は保管場所があらかじめ決まっている伐採木等は省略する。再利用/減容が可能と推測される場合、再利用:RU、減容:VRと記載。固体庫保管時はコンテナNo.記載

メモ	
----	--

※カテゴリー	①	A	可燃物	01	紙・ウエス類	02	プラスチック・ホリ・ビニール類	03	木材類	04	可燃物その他	05	—	
				06	—	07	—	08	—	09	—	10	—	
		B	不燃物	01	金属ガラ	02	コンクリートガラ	03	機器類・制御盤類	04	土砂類	05	塩化ビニール類	
				06	保温材	07	石綿含有物	08	ケーブル類	09	アスファルトガラ	10	不燃物その他	
				11	フランジタンク本体	12	フランジタンク付属品	13	石綿含有物(はつり屑等)	14	—	15	—	
		C	難燃物	01	ゴム類	02	難燃シート類	03	ホース類	04	難燃物その他	05	—	
		D	伐採木	01	伐採木(幹・根)	02	伐採木(枝・葉)	03	—	04	—	05	—	
		②	状態	D:乾燥, W:湿気有		③	履歴	A:「1F構内にあった物」, B:「工事のために持ち込まれた物」						

注1:可燃・難燃物は原則として透明袋に収納すること。注2:伐採木の積み上げ高さは固体廃棄物管理Gの指示に従うこと。(最大で5m以下とする。)
 注3:飛散抑制等必要な措置を講じ運搬し、保管エリアに応じた飛散防止(養生、容器収納等)を施し保管すること。注4:塩化ビニール類については可燃・難燃側に持込みのこと。
 注5: β 汚染有の場合、表面線量率欄には「 γ 」のみの線量率を記載し、 $\beta + \gamma$ 線量率欄に「 $\beta + \gamma$ 」の線量率を記載すること。 β 汚染無の場合は、 $\beta + \gamma$ 線量率の記載不要。
 注6:コンテナで持ち込む場合は、保管物名欄またはメモ欄にコンテナNo. を記載すること。

瓦 礫 類 ・ 伐 採 木 管 理 票

計上No. 6013803 - 0028

作業 主 管 G 記 入 欄	保管希望日時	2019年8月20日		(火)	8:00		承認	審査	作成		
	作業件名	G4エリアタンク基礎他設置工事並びに関連除却工事									
	発生場所	G4南エリア									
	作業主管G	貯留設備土木グループ				監理員	TEL				
	元請会社					担当者	TEL				
	線量測定年月日	2019/8/6	測定者			測定器名	ICWBL		管理番号	F1-KWBL-87	
	No.	※カテゴリ				物 量	測定場所 雰囲気線量率		表面線量率	$\beta \cdot \alpha$ 汚染の有無	$\beta + \gamma$ 線量率
	1	コンクリートガラ	B	02	D	B	5 m ³	0.001 mSv/h	0.001 mSv/h	無	
	2						m ³				
	3						m ³				
	4						m ³				
	5						m ³				
メモ	注:4tユニック車にて持参します。										

固体廃棄物管理G記入欄				受付
受 付 番 号				
廃2019	—	08	—	0114
				2019/8/7
調整後保管日時		2019年8月20日		8:00
【保管時の指示事項等】				

線量測定内容			
測定日	2019年8月20日		
測定No.	氏名	測定器	管理番号
1		ICWBL	F1-ICWBL-42
2			
3			
4			

保管 実績 記 入 欄	No.	枝 番	保 管 物 名	測定場所 雰囲気線量率	表面線量率	$\beta + \gamma$ 線量率	保管場所	保管日時	物 量	再利用 減容可	コンテナNo.	測定No.
	1	1	コンクリートガラ ①	5 μ Sv/h	5 μ Sv/h		エリアC	2019/8/20 8:00	4 m ³			1
									m ³			
									m ³			
									m ³			
									m ³			

* 線量測定は保管場所があらかじめ決まっている伐採木等は省略する。 再利用／減容が可能と推測される場合、再利用:RU、減容:VRと記載。固体庫保管時はコンテナNo.記載

メモ	
----	--

※カ テ ゴ リ	①	A	可 燃 物	01	紙・ウエス類	02	プラスチック・ホリ・ビニール類	03	木材類	04	可燃物その他	05	—
				06	—	07	—	08	—	09	—	10	—
		B	不 燃 物	01	金属ガラ	02	コンクリートガラ	03	機器類・制御盤類	04	土砂類	05	塩化ビニール類
				06	保温材	07	石綿含有物	08	ケーブル類	09	アスファルトガラ	10	不燃物その他
				11	フランジタンク本体	12	フランジタンク付属品	13	石綿含有物(はつり屑等)	14	—	15	—
		C	難燃物	01	ゴム類	02	難燃シート類	03	ホース類	04	難燃物その他	05	—
				D	伐 採 木	01	伐採木(幹・根)	02	伐採木(枝・葉)	03	—	04	—
		②	状 態			D:乾燥, W:湿気有	③	履 歴	A:「1F構内にあった物」, B:「工事のために持ち込まれた物」				

注1:可燃・難燃物は原則として透明袋に収納すること。 注2:伐採木の積み上げ高さは固体廃棄物管理Gの指示に従うこと。(最大で5m以下とする。)
 注3:飛散抑制等必要な措置を講じ運搬し、保管エリアに応じた飛散防止(養生、容器収納等)を施し保管すること。 注4:塩化ビニール類については可燃・難燃側に持込みのこと。
 注5: β 汚染有の場合、表面線量率欄には「 γ 」のみの線量率を記載し、 $\beta + \gamma$ 線量率欄に「 $\beta + \gamma$ 」の線量率を記載すること。 β 汚染無の場合は、 $\beta + \gamma$ 線量率の記載不要。
 注6:コンテナで持ち込む場合は、保管物名欄またはメモ欄にコンテナNo.を記載すること。

瓦 礫 類 ・ 伐 採 木 管 理 票

計上No. 6013803 - 0028

作業 主 管 G 記 入 欄	保管希望日時	2019年8月20日		(火)	11:00		承認	審査	作成			
	作業件名	G4エリアタンク基礎他設置工事並びに関連除却工事										
	発生場所	G4南エリア										
	作業主管G	貯留設備土木グループ				監理員	TEL					
	元請会社					担当者	TEL					
	線量測定年月日	2019/8/6	測定者			測定器名	ICWBL		管理番号	F1-KWBL-87		
	No.	保管物名			※カテゴリ		物 量	測定場所 雰囲気線量率	表面線量率	$\beta + \alpha$ 汚染の有無	$\beta + \gamma$ 線量率	
	1	コンガラポリウエア付き			B	10	D	B	5 m ²	0.001 mSv/h	0.001 mSv/h	無
	2								m ²			
	3								m ²			
	4								m ²			
	5								m ²			
メモ	注:4tユニック車にて持参します。											

固体廃棄物管理G記入欄				受付
受 付 番 号				
廃2019	—	08	—	0117
				2019/8/7
調整後保管日時		2019年8月20日		11:00
【保管時の指示事項等】				

線量測定内容				
測定日	2019年8月20日			
測定No.	氏名	測定器	管理番号	
1		ICWBL	F1-ICWBL-42	
2				
3				
4				

保管 実績 記入 欄	No.	枝 番	保 管 物 名	測定場所 雰囲気線量率	表面線量率	$\beta + \gamma$ 線量率	保管場所	保管日時	物 量	再利用 減容可	コンテナNo.	測定No.
	1	1	コンガラポリウエア付き ②	5 μ Sv/h	5 μ Sv/h		エリアP1(屋外)	2019/8/20 11:00	5 m ²			1
									m ²			
									m ²			
									m ²			
									m ²			

*線量測定は保管場所があらかじめ決まっている伐採木等は省略する。再利用/減容が可能と推測される場合、再利用:RU、減容:VRと記載。固体庫保管時はコンテナNo.記載

メモ

※カ テ ゴ リ	①	A	可 燃 物	01	紙・ウェス類	02	プラスチック・ポリ・ビニール類	03	木材類	04	可燃物その他	05	—
				06	—	07	—	08	—	09	—	10	—
		B	不 燃 物	01	金属ガラ	02	コンクリートガラ	03	機器類・制御盤類	04	土砂類	05	塩化ビニール類
				06	保温材	07	石綿含有物	08	ケーブル類	09	アスファルトガラ	10	不燃物その他
				11	フランジタンク本体	12	フランジタンク付属品	13	石綿含有物(はつり屑等)	14	—	15	—
		C	難燃物	01	ゴム類	02	難燃シート類	03	ホース類	04	難燃物その他	05	—
				D	伐 採 木	01	伐採木(幹・根)	02	伐採木(枝・葉)	03	—	04	—
		②	状 態			D:乾燥, W:湿気有	③	履 歴	A:「1F構内にあった物」, B:「工事のために持ち込まれた物」				

注1:可燃・難燃物は原則として透明袋に収納すること。注2:伐採木の積み上げ高さは固体廃棄物管理Gの指示に従うこと。(最大で5m以下とする。)

注3:飛散抑制等必要な措置を講じ運搬し、保管エリアに応じた飛散防止(養生、容器収納等)を施し保管すること。注4:塩化ビニール類については可燃・難燃側に持込みのこと。

注5: β 汚染有の場合、表面線量率欄には「 γ 」のみの線量率を記載し、 $\beta + \gamma$ 線量率欄に「 $\beta + \gamma$ 」の線量率を記載すること。 β 汚染無の場合は、 $\beta + \gamma$ 線量率の記載不要。

注6:コンテナで持ち込む場合は、保管物名欄またはメモ欄にコンテナNo.を記載すること。

瓦 礫 類 ・ 伐 採 木 管 理 票

計上No. 6013705 - 0071

作業 主 管 記 入 欄	保管希望日時	2019年8月22日		(木)	9:30	承認	審査	作成			
	作業件名	1F-1~4号機 干渉物撤去工事(地上階)									
	発生場所	1号機 Rw/B 中操				2019/8/7	2019/8/7	2019/8/7			
	作業主管G	地下水対策グループ			監理員		TEL				
	元請会社				担当者		TEL				
G	線量測定年月日	2019/6/5	測定者		測定器名	ICWBL	管理番号	F1-ICWBL-24			
	No.	※カテゴリ			物 量	測定場所 雰囲気線量率	表面線量率	$\beta \cdot \alpha$ 汚染の有無			
		①	②	③				$\beta + \gamma$ 線量率			
	1	金属ガラ	B	01	D	A	3 m ²	0.01 mSv/h	0.05 mSv/h	β 有	0.1 mSv/h
	2	機器類・制御盤類	B	03	D	A	1 m ²	0.01 mSv/h	0.03 mSv/h	β 有	0.05 mSv/h
3	ケーブル類	B	08	D	A	1 m ²	0.01 mSv/h	0.03 mSv/h	β 有	0.05 mSv/h	
4	不燃物その他	B	10	D	A	1 m ²	0.01 mSv/h	0.08 mSv/h	β 有	0.2 mSv/h	
5						m ²					
メ モ	注: α 有、 $\beta \alpha$ 有の場合、 α 線量情報をここに記載のこと。 固体廃棄物管理G取合せ済 P2保管										

固体廃棄物管理G記入欄				受付
受 付 番 号				
廃2019	—	08	—	0118
				2019/8/7
調整後保管日時		2019年8月22日		9:30
【保管時の指示事項等】				

線量測定内容			
測定日	2019年8月22日		
測定No.	氏名	測定器	管理番号
1		ICWBL	F1-ICWBL-42
2			
3			
4			

保管 実績 記 入 欄	No.	枝 番	保 管 物 名	測定場所 雰囲気線量率	表面線量率	$\beta + \gamma$ 線量率	保管場所	保管日時	物 量	再利用 減容可	コンテナNo.	測定No.
	1	1	金属ガラ	5 μ Sv/h	5 μ Sv/h	15 μ Sv/h	エリアP2	2019/8/22 8:50	1.5 m ²			1
	2	1	機器類・制御盤類	5 μ Sv/h	5 μ Sv/h	15 μ Sv/h	エリアP2	2019/8/22 8:50	0.5 m ²			1
	3	1	ケーブル類	5 μ Sv/h	5 μ Sv/h	15 μ Sv/h	エリアP2	2019/8/22 8:50	0.5 m ²			1
	4	1	不燃物その他	5 μ Sv/h	5 μ Sv/h	15 μ Sv/h	エリアP2	2019/8/22 8:50	0.5 m ²			1
									m ²			

* 線量測定は保管場所があらかじめ決まっている伐採木等は省略する。再利用/減容が可能と推測される場合、再利用:RU、減容:VRと記載。固体庫保管時はコンテナNo.記載

メ
モ
上記の物品はシート養生にて保管。

※カ テ ゴ リ	①	A	可 燃 物	01	紙・ウエス類	02	プラスチック・ポリビニール類	03	木材類	04	可燃物その他	05	—
				06	—	07	—	08	—	09	—	10	—
		B	不 燃 物	01	金属ガラ	02	コンクリートガラ	03	機器類・制御盤類	04	土砂類	05	塩化ビニール類
				06	保温材	07	石綿含有物	08	ケーブル類	09	アスファルトガラ	10	不燃物その他
				11	フランジタンク本体	12	フランジタンク付属品	13	石綿含有物(はつり屑等)	14	—	15	—
		C	難 燃 物	01	ゴム類	02	難燃シート類	03	ホース類	04	難燃物その他	05	—
				D	伐 採 木	01	伐採木(幹・根)	02	伐採木(枝・葉)	03	—	04	—
		D	伐 採 木			01	伐採木(幹・根)	02	伐採木(枝・葉)	03	—	04	—
				D	伐 採 木	01	伐採木(幹・根)	02	伐採木(枝・葉)	03	—	04	—
		D	伐 採 木			01	伐採木(幹・根)	02	伐採木(枝・葉)	03	—	04	—
D	伐 採 木			01	伐採木(幹・根)	02	伐採木(枝・葉)	03	—	04	—	05	—

②	状 態	D:乾燥, W:湿気有	③	履 歴	A:「1F構内にあった物」, B:「工事のために持ち込まれた物」							
---	-----	-------------	---	-----	----------------------------------	--	--	--	--	--	--	--

注1:可燃・難燃物は原則として透明袋に収納すること。注2:伐採木の積み上げ高さは固体廃棄物管理Gの指示に従うこと。(最大で5m以下とする。)

注3:飛散抑制等必要な措置を講じ運搬し、保管エリアに応じた飛散防止(養生、容器収納等)を施し保管すること。注4:塩化ビニール類については可燃・難燃側に持込みのこと。

注5: β 汚染有の場合、表面線量率欄には「 γ 」のみの線量率を記載し、 $\beta + \gamma$ 線量率欄に「 $\beta + \gamma$ 」の線量率を記載すること。 β 汚染無の場合は、 $\beta + \gamma$ 線量率の記載不要。

注6:コンテナで持ち込む場合は、保管物名欄またはメモ欄にコンテナNo. を記載すること。

瓦 礫 類 ・ 伐 採 木 管 理 票

計上No. 6013204 - 0011

作業 主 管 G 記 入 欄	保管希望日時	2019年8月20日		(火)	8:30		承認	審査	作成			
	作業件名	1~4号機T/B東側構内整備工事										
	発生場所	1/2号機新SB建屋(GI-22)					2019/8/7	2019/8/7	2019/8/7			
	作業主管G	建築水対策グループ			監理員		TEL					
	元請会社				担当者		TEL					
	線量測定年月日	2019/8/5	測定者		測定器名	ICW	管理番号	F1-ICW-282				
	No.	保管物名			※カテゴリ		物量	測定場所 雰囲気線量率	表面線量率	$\beta \cdot \alpha$ 汚染の有無	$\beta + \gamma$ 線量率	
	1	コンクリートガラ			B	02	D	A	5 m ³	0.05 mSv/h	0.05 mSv/h	無
	2								m ³			
	3								m ³			
4								m ³				
5								m ³				
メモ	注: α 有、 $\beta \cdot \alpha$ 有の場合、 α 線量情報をここに記載のこと。											

固体廃棄物管理G記入欄				受付
受付番号				
廃2019	—	08	—	0120
				2019/8/7
調整後保管日時		2019年8月20日		8:30
【保管時の指示事項等】				

線量測定内容				
測定日	2019年8月20日			
測定No.	氏名	測定器	管理番号	
1		ICW	F1-ICW-209	
2				
3				
4				

保管実績記入欄	No.	枝番	保管物名	測定場所 雰囲気線量率	表面線量率	$\beta + \gamma$ 線量率	保管場所	保管日時	物量	再利用 減容可	コンテナNo.	測定No.
	1	1	コンクリートガラ①	5 μ Sv/h	5 μ Sv/h		エリアC	2019/8/20 8:50	5 m ³			1
									m ³			
									m ³			
									m ³			
									m ³			

* 線量測定は保管場所があらかじめ決まっている伐採木等は省略する。再利用/減容が可能と推測される場合、再利用:RU、減容:VRと記載。固体庫保管時はコンテナNo.記載

メモ

※カテゴリー	①	A	可燃物	01	紙・ウエス類	02	プラスチック・ポリ・ビニール類	03	木材類	04	可燃物その他	05	—
				06	—	07	—	08	—	09	—	10	—
		B	不燃物	01	金属ガラ	02	コンクリートガラ	03	機器類・制御盤類	04	土砂類	05	塩化ビニール類
				06	保温材	07	石綿含有物	08	ケーブル類	09	アスファルトガラ	10	不燃物その他
				11	フランジタンク本体	12	フランジタンク付属品	13	石綿含有物(はつり屑等)	14	—	15	—
		C	難燃物	01	ゴム類	02	難燃シート類	03	ホース類	04	難燃物その他	05	—
				D	伐採木	01	伐採木(幹・根)	02	伐採木(枝・葉)	03	—	04	—
		②	状態			D:乾燥, W:湿気有	③	履歴	A:「1F構内にあった物」, B:「工事のために持ち込まれた物」				

注1:可燃・難燃物は原則として透明袋に収納すること。注2:伐採木の積み上げ高さは固体廃棄物管理Gの指示に従うこと。(最大で5m以下とする。)

注3:飛散抑制等必要な措置を講じ運搬し、保管エリアに応じた飛散防止(養生、容器収納等)を施し保管すること。注4:塩化ビニール類については可燃・難燃側に持込みのこと。

注5: β 汚染有の場合、表面線量率欄には「 γ 」のみの線量率を記載し、 $\beta + \gamma$ 線量率欄に「 $\beta + \gamma$ 」の線量率を記載すること。 β 汚染無の場合は、 $\beta + \gamma$ 線量率の記載不要。

注6:コンテナで持ち込む場合は、保管物名欄またはメモ欄にコンテナNo. を記載すること。

瓦 礫 類 ・ 伐 採 木 管 理 票

計上No. 6013204 - 0011

作 業 主 管 G 記 入 欄	保管希望日時	2019年8月21日		(水)	8:30		承認	審査	作成
	作業件名	1～4号機T/B東側構内整備工事							
	発生場所	1/2号機新SB建屋(GI-22)							
	作業主管G	建築水対策グループ				監理員	TEL		
	元請会社					担当者	TEL		
	線量測定年月日	2019/8/8		測定者			測定器名	ICW	
	No.	保管物名			※カテゴリ	物 量	測定場所 雰囲気線量率	表面線量率	β・α 汚染の有無
		①	②	③					β + γ 線量率
	1	コンクリートガラ			B 02 D A	10 m ²	0.05 mSv/h	0.05 mSv/h	無
	2					m ²			
	3					m ²			
	4					m ²			
	5					m ²			

固体廃棄物管理G記入欄				受付
受付番号				
廃2019	—	08	—	0124
				2019/8/7
調整後保管日時		2019年8月21日		8:30
【保管時の指示事項等】				

線量測定内容				
測定日	2019年8月21日			
測定No.	氏名	測定器	管理番号	
1		ICW	F1-ICW-209	
2				
3				
4				

保管実績記入欄	No.	枝番	保管物名	測定場所 雰囲気線量率	表面線量率	β + γ 線量率	保管場所	保管日時	物 量	再利用 減容可	コンテナNo.	測定No.
	1	1	コンクリートガラ①	5 μSv/h	5 μSv/h		エリアC	2019/8/21 9:10	5 m ²			1
	1	2	コンクリートガラ①	5 μSv/h	5 μSv/h		エリアC	2019/8/21 9:35	4 m ²			1
									m ²			
									m ²			
									m ²			

*線量測定は保管場所があらかじめ決まっている伐採木等は省略する。再利用／減容が可能と推測される場合、再利用:RU、減容:VRと記載。固体庫保管時はコンテナNo.記載

※カテゴリー	①	A	可燃物	01	紙・ウエス類	02	プラスチック・ポリ・ビニール類	03	木材類	04	可燃物その他	05	—
				06	—	07	—	08	—	09	—	10	—
		B	不燃物	01	金属ガラ	02	コンクリートガラ	03	機器類・制御盤類	04	土砂類	05	塩化ビニール類
				06	保温材	07	石綿含有物	08	ケーブル類	09	アスファルトガラ	10	不燃物その他
				11	フランジタンク本体	12	フランジタンク付属品	13	石綿含有物(はつり屑等)	14	—	15	—
		C	難燃物	01	ゴム類	02	難燃シート類	03	ホース類	04	難燃物その他	05	—
		D	伐採木	01	伐採木(幹・根)	02	伐採木(枝・葉)	03	—	04	—	05	—
		②	状態	D:乾燥, W:湿気有	③	履歴	A:「1F構内にあった物」, B:「工事のために持ち込まれた物」						

注1:可燃・難燃物は原則として透明袋に収納すること。注2:伐採木の積み上げ高さは固体廃棄物管理Gの指示に従うこと。(最大で5m以下とする。)
 注3:飛散抑制等必要な措置を講じ運搬し、保管エリアに応じた飛散防止(養生、容器収納等)を施し保管すること。注4:塩化ビニール類については可燃・難燃側に持込みのこと。
 注5:β汚染有の場合、表面線量率欄には「γ」のみの線量率を記載し、β + γ線量率欄に「β + γ」の線量率を記載すること。β汚染無の場合は、β + γ線量率の記載不要。
 注6:コンテナで持ち込む場合は、保管物名欄またはメモ欄にコンテナNo.を記載すること。

瓦 礫 類 ・ 伐 採 木 管 理 票

計上No. 6013204 - 0011

作業 主 管 G 記 入 欄	保管希望日時	2019年8月21日		(水)	9:30		承認	審査	作成		
	作業件名	1～4号機T/B東側構内整備工事									
	発生場所	1/2号機新SB建屋(GI-22)									
	作業主管G	建築水対策グループ				監理員	TEL				
	元請会社					担当者	TEL				
	線量測定年月日	2019/8/8	測定者			測定器名	ICW		管理番号	F1-ICW-282	
	No.	保管物名				※カテゴリ	物 量	測定場所 雰囲気線量率	表面線量率	$\beta \cdot \alpha$ 汚染の有無	$\beta + \gamma$ 線量率
	1	コンクリートガラ				B 02 D A	5 m ³	0.05 mSv/h	0.05 mSv/h	無	
2						m ³					
3						m ³					
4						m ³					
5						m ³					
メモ	注: α 有、 $\beta \alpha$ 有の場合、 α 線量情報をここに記載のこと。										

固体廃棄物管理G記入欄				受付
受付番号				
廃2019	—	08	—	0125
				2019/8/7
調整後保管日時		2019年8月21日		9:30
【保管時の指示事項等】				

線量測定内容				
測定日	2019年8月21日			
測定No.	氏名	測定器	管理番号	
1		ICW	F1-ICW-209	
2				
3				
4				

保管 実績 記入 欄	No.	枝番	保管物名	測定場所 雰囲気線量率	表面線量率	$\beta + \gamma$ 線量率	保管場所	保管日時	物 量	再利用 減容可	コンテナNo.	測定No.
	1	1	コンクリートガラ①	5 μ Sv/h	5 μ Sv/h		エリアC	2019/8/21 10:10	4 m ³			1
									m ³			
									m ³			
									m ³			
									m ³			
メモ	* 線量測定は保管場所があらかじめ決まっている伐採木等は省略する。再利用/減容が可能と推測される場合、再利用:RU、減容:VRと記載。固体庫保管時はコンテナNo.記載											

※カテゴリー	①	A	可燃物	01	紙・ウエス類	02	プラスチック・ポリ・ビニール類	03	木材類	04	可燃物その他	05	—
				06	—	07	—	08	—	09	—	10	—
		B	不燃物	01	金属ガラ	02	コンクリートガラ	03	機器類・制御盤類	04	土砂類	05	塩化ビニール類
				06	保温材	07	石綿含有物	08	ケーブル類	09	アスファルトガラ	10	不燃物その他
				11	フランジタンク本体	12	フランジタンク付属品	13	石綿含有物(はつり屑等)	14	—	15	—
		C	難燃物	01	ゴム類	02	難燃シート類	03	ホース類	04	難燃物その他	05	—
		D	伐採木	01	伐採木(幹・根)	02	伐採木(枝・葉)	03	—	04	—	05	—
		②	状態	D:乾燥, W:湿気有	③	履歴	A:「1F構内にあった物」、B:「工事のために持ち込まれた物」						

注1: 可燃・難燃物は原則として透明袋に収納すること。注2: 伐採木の積み上げ高さは固体廃棄物管理Gの指示に従うこと。(最大で5m以下とする。)
 注3: 飛散抑制等必要な措置を講じ運搬し、保管エリアに応じた飛散防止(養生、容器収納等)を施し保管すること。注4: 塩化ビニール類については可燃・難燃側に持込みのこと。
 注5: β 汚染有の場合、表面線量率欄には「 γ 」のみの線量率を記載し、 $\beta + \gamma$ 線量率欄に「 $\beta + \gamma$ 」の線量率を記載すること。 β 汚染無の場合は、 $\beta + \gamma$ 線量率の記載不要。
 注6: コンテナで持ち込む場合は、保管物名欄またはメモ欄にコンテナNo. を記載すること。

瓦 礫 類 ・ 伐 採 木 管 理 票

計上No. 6012321 - 0008

作業 主 管 G 記 入 欄 メ モ	保管希望日時	2019年8月20日		(火)	9:00		承認	審査	作成	
	作業件名	1F フランジタンク除染・保管委託								
	発生場所	大型機器点検建屋						2019/8/8	2019/8/8	
	作業主管G	廃棄物計画グループ				監理員	TEL			
	元請会社					担当者	TEL			
	線量測定年月日	2019/6/14	測定者		測定器名	ICWBL	管理番号	F1-ICWBL-67		
	No.	※カテゴリ			物 量	測定場所 雰囲気線量率	表面線量率	$\beta \cdot \alpha$ 汚染の有無	$\beta + \gamma$ 線量率	
	1	プラスチック・ポリ・ビニール類	A	02	D	A	0.5 m ²	0.002 mSv/h	0.002 mSv/h	無
	2	紙・ウエス類	A	01	D	A	0.5 m ²	0.002 mSv/h	0.002 mSv/h	無
	3						m ²			
	4						m ²			
	5						m ²			
	注: α 有、 $\beta \alpha$ 有の場合、 α 線量情報をここに記載のこと。									

固体廃棄物管理G記入欄				受付
受 付 番 号				
廃2019	—	08	—	0129
				2019/8/8
調整後保管日時		2019年8月20日		9:00
【保管時の指示事項等】				

線量測定内容			
測定日	2019年8月20日		
測定No.	氏名	測定器	管理番号
1		ICW	F1-ICW-179
2			
3			
4			

保管 実績 記 入 欄 メ モ	No.	枝 番	保 管 物 名	測定場所 雰囲気線量率	表面線量率	$\beta + \gamma$ 線量率	保管場所	保管日時	物 量	再利用 減容可	コンテナNo.	測定No.
	1	1	プラスチック・ポリ・ビニール類	2 μ Sv/h	2 μ Sv/h		エリアV(瓦礫類)	2019/8/20 8:50	0.5 m ²			1
	2	1	紙・ウエス類	2 μ Sv/h	2 μ Sv/h		エリアV(瓦礫類)	2019/8/20 8:50	0.2 m ²			1
									m ²			
									m ²			
									m ²			

* 線量測定は保管場所があらかじめ決まっている伐採木等は省略する。 再利用／減容が可能と推測される場合、再利用:RU、減容:VRと記載。固体庫保管時はコンテナNo.記載

メ モ	
--------	--

※カ テ ゴ リ	①	A	可 燃 物	01	紙・ウエス類	02	プラスチック・ポリ・ビニール類	03	木材類	04	可燃物その他	05	—	
				06	—	07	—	08	—	09	—	10	—	
		B	不 燃 物	01	金属ガラ	02	コンクリートガラ	03	機器類・制御盤類	04	土砂類	05	塩化ビニール類	
				06	保温材	07	石綿含有物	08	ケーブル類	09	アスファルトガラ	10	不燃物その他	
				11	フランジタンク本体	12	フランジタンク付属品	13	石綿含有物(はつり屑等)	14	—	15	—	
		C	難燃物	01	ゴム類	02	難燃シート類	03	ホース類	04	難燃物その他	05	—	
				D	伐 採 木	01	伐採木(幹・根)	02	伐採木(枝・葉)	03	—	04	—	05
		②	状 態			D:乾燥, W:湿気有		③	履 歴	A:「1F構内にあった物」, B:「工事のために持ち込まれた物」				

注1:可燃・難燃物は原則として透明袋に収納すること。 注2:伐採木の積み上げ高さは固体廃棄物管理Gの指示に従うこと。(最大で5m以下とする。)
 注3:飛散抑制等必要な措置を講じ運搬し、保管エリアに応じた飛散防止(養生、容器収納等)を施し保管すること。 注4:塩化ビニール類については可燃・難燃側に持込みのこと。
 注5: β 汚染有の場合、表面線量率欄には「 γ 」のみの線量率を記載し、 $\beta + \gamma$ 線量率欄に「 $\beta + \gamma$ 」の線量率を記載すること。 β 汚染無の場合は、 $\beta + \gamma$ 線量率の記載不要。
 注6:コンテナで持ち込む場合は、保管物名欄またはメモ欄にコンテナNo. を記載すること。

瓦 礫 類 ・ 伐 採 木 管 理 票

計上No. 6012321 - 0008

作業 主 管 G 記 入 欄	保管希望日時	2019年8月20日		(火)	9:30		承認	審査	作成
	作業件名	1F フランジタンク除染・保管委託							
	発生場所	大型機器点検建屋							
	作業主管G	廃棄物計画グループ				監理員	TEL		
	元請会社					担当者	TEL		
メ モ	線量測定年月日	2019/6/14		測定者			測定器名	ICWBL	
							管理番号	F1-ICWBL-67	
	No.	保管物名			※カテゴリ		物 量	測定場所 雰囲気線量率	表面線量率
									$\beta \cdot \alpha$ 汚染の有無
									$\beta + \gamma$ 線量率
	1	不燃物その他			B 10 D A		1.5 m	0.002 mSv/h	0.05 mSv/h
	2						m		
	3						m		
	4						m		
	5						m		
注: α 有、 $\beta \alpha$ 有の場合、 α 線量情報をここに記載のこと。									

固体廃棄物管理G記入欄				受付
受 付 番 号				
廃2019	—	08	—	0130
				2019/8/8
調整後保管日時		2019年8月20日		9:30
【保管時の指示事項等】				

線量測定内容			
測定日	2019年8月20日		
測定No.	氏名	測定器	管理番号
1		ICWBL	F1-ICWBL-42
2			
3			
4			

保管 実 績 記 入 欄	No.	枝番	保管物名	測定場所 雰囲気線量率	表面線量率	$\beta + \gamma$ 線量率	保管場所	保管日時	物 量	再利用 減容可	コンテナNo.	測定No.
	1	1	不燃物その他	5 μ Sv/h	10 μ Sv/h	400 μ Sv/h	エリアW1	2019/8/20 9:00	1 m		ZK-00460	1
									m			
									m			
									m			
* 線量測定は保管場所があらかじめ決まっている伐採木等は省略する。 再利用/減容が可能と推測される場合、再利用:RU、減容:VRと記載。固体庫保管時はコンテナNo.記載												
メ モ	上記物品を収納後のコンテナ表面: BG=7 μ Sv/h, 表面線量率=20 μ Sv/h, $\beta + \gamma$ 線量率=20 μ Sv/h											

※カ テ ゴ リ	①	A	可 燃 物	01	紙・ウエス類	02	プラスチック・ホリ・ビニール類	03	木材類	04	可燃物その他	05	—
				06	—	07	—	08	—	09	—	10	—
		B	不 燃 物	01	金属ガラ	02	コンクリートガラ	03	機器類・制御盤類	04	土砂類	05	塩化ビニール類
				06	保温材	07	石綿含有物	08	ケーブル類	09	アスファルトガラ	10	不燃物その他
				11	フランジタンク本体	12	フランジタンク付属品	13	石綿含有物(はつり屑等)	14	—	15	—
		C	難燃物	01	ゴム類	02	難燃シート類	03	ホース類	04	難燃物その他	05	—
				D	伐 採 木	01	伐採木(幹・根)	02	伐採木(枝・葉)	03	—	04	—
		②	状 態			D:乾燥, W:湿気有	③	履歴	A:「1F構内にあった物」, B:「工事のために持ち込まれた物」				

注1: 可燃・難燃物は原則として透明袋に収納すること。 注2: 伐採木の積み上げ高さは固体廃棄物管理Gの指示に従うこと。(最大で5m以下とする。)

注3: 飛散抑制等必要な措置を講じ運搬し、保管エリアに応じた飛散防止(養生、容器収納等)を施し保管すること。 注4: 塩化ビニール類については可燃・難燃側に持込みのこと。

注5: β 汚染有の場合、表面線量率欄には「 γ 」のみの線量率を記載し、 $\beta + \gamma$ 線量率欄に「 $\beta + \gamma$ 」の線量率を記載すること。 β 汚染無の場合は、 $\beta + \gamma$ 線量率の記載不要。

注6: コンテナで持ち込む場合は、保管物名欄またはメモ欄にコンテナNo. を記載すること。

瓦 礫 類 ・ 伐 採 木 管 理 票

計上No. 6015501 - 0019

作業 主 管 欄	保管希望日時	2019年8月21日		(水)	10:00	承認	審査	作成		
	作業件名	5, 6T RO取水ポンプ他設置工事								
	発生場所	Fエリア(J6、K5、F-N2～5タンク周辺)GL-11上部					2019/8/8	2019/8/8	2019/8/8	
	作業主管G	機械グループ			監理員		TEL			
	元請会社				担当者		TEL			
G 記 入 欄	線量測定年月日	2019/8/7	測定者		測定器名	電離式サーベイメータ	管理番号	リ-ICW-354		
	No.	※カテゴリ			物 量	測定場所 雰囲気線量率	表面線量率	$\beta + \gamma$ 線量率		
メ モ	1	ウエス、キムタール、紙	A	01	W	B	0.5 m ²	0.003 mSv/h	0.004 mSv/h	無
	2	ビニール袋、シート、プラスチック類	A	02	D	B	0.5 m ²	0.003 mSv/h	0.003 mSv/h	無
	3	テープ、ラミネート、ケミカル袋	A	04	D	B	0.07 m ²	0.003 mSv/h	0.003 mSv/h	無
	4	PE配管、PE配管削り屑	C	04	D	B	0.5 m ²	0.003 mSv/h	0.003 mSv/h	無
	5	ゴムパッキン	C	01	D	B	0.02 m ²	0.003 mSv/h	0.004 mSv/h	無
注: α 有、 β α 有の場合、 α 線量情報をここに記載のこと。 ※回収をお願いします。										

固体廃棄物管理G記入欄				受付
受 付 番 号				
廃2019	—	08	—	0131
				2019/8/9
調整後保管日時		2019年8月21日		10:00
【保管時の指示事項等】				
発生場所にて管理票の確認。 運搬車を配備致しますので 保管物の詰込みをお願いします。				

線量測定内容			
測定日	2019年8月21日		
測定No.	氏名	測定器	管理番号
1		ICW	F1-ICW-179
2		ICWBL	F1-ICWBL-126
3			
4			

保管 実績 記 入 欄	No.	枝 番	保 管 物 名	測定場所 雰囲気線量率	表面線量率	$\beta + \gamma$ 線量率	保管場所	保管日時	物 量	再利用 減容可	コンテナNo.	測定No.
1	1	ウエス、キムタール、紙	2 μ Sv/h	2 μ Sv/h		エリアO	2019/8/21 10:00	1 m ²			1	
2	1	ビニール袋、シート、プラスチック類	2 μ Sv/h	2 μ Sv/h		エリアO	2019/8/21 10:00	1.1 m ²			1	
3	1	テープ、ラミネート、ケミカル袋	2 μ Sv/h	2 μ Sv/h		エリアO	2019/8/21 10:00	0.1 m ²			1	
4	1	PE配管、PE配管削り屑	2 μ Sv/h	2 μ Sv/h		エリアO	2019/8/21 10:00	0.4 m ²			2	
5	1	ゴムパッキン	2 μ Sv/h	2 μ Sv/h		エリアO	2019/8/21 10:00	0.01 m ²			1	
* 線量測定は保管場所があらかじめ決まっている伐採木等は省略する。 再利用/減容が可能と推測される場合、再利用:RU、減容:VRと記載。固体庫保管時はコンテナNo.記載												
メ モ												

※カ テ ゴ リ	①	A	可 燃 物	01	紙・ウエス類	02	プラスチック・ポリ・ビニール類	03	木材類	04	可燃物その他	05	—
				06	—	07	—	08	—	09	—	10	—
		B	不 燃 物	01	金属ガラ	02	コンクリートガラ	03	機器類・制御盤類	04	土砂類	05	塩化ビニール類
				06	保温材	07	石綿含有物	08	ケーブル類	09	アスファルトガラ	10	不燃物その他
				11	フランジタンク本体	12	フランジタンク付属品	13	石綿含有物(はつり屑等)	14	—	15	—
		C	難燃物	01	ゴム類	02	難燃シート類	03	ホース類	04	難燃物その他	05	—
		D	伐採木	01	伐採木(幹・根)	02	伐採木(枝・葉)	03	—	04	—	05	—
		②	状 態	D:乾燥, W:湿気有		③	履 歴	A:「1F構内にあった物」, B:「工事のために持ち込まれた物」					

注1: 可燃・難燃物は原則として透明袋に収納すること。 注2: 伐採木の積み上げ高さは固体廃棄物管理Gの指示に従うこと。(最大で5m以下とする。)
 注3: 飛散抑制等必要な措置を講じ運搬し、保管エリアに応じた飛散防止(養生、容器収納等)を施し保管すること。 注4: 塩化ビニール類については可燃・難燃側に持込みのこと。
 注5: β 汚染有の場合、表面線量率欄には「 γ 」のみの線量率を記載し、 $\beta + \gamma$ 線量率欄に「 $\beta + \gamma$ 」の線量率を記載すること。 β 汚染無の場合は、 $\beta + \gamma$ 線量率の記載不要。
 注6: コンテナで持ち込む場合は、保管物名欄またはメモ欄にコンテナNo. を記載すること。

瓦礫類・伐採木管理票（別紙）

作業主 管 G 記 入 欄	No.	保管物名	※カテゴリ			物 量	測定場所 雰囲気線量率		表面線量率		$\beta \cdot \alpha$ 汚染の 有無	$\beta + \gamma$ 線量率		
			①	②	③									
	6	エフレックス	C	04	D	B	0.03	m ²	0.003	mSv/h	0.004	mSv/h	無	
	7						m ²							
	8						m ²							
	9						m ²							
	10						m ²							

固体廃棄物管理G記入欄					
受付番号	廃2019	—	08	—	0131

	No.	枝番	保管物名	測定場所 雰囲気線量率		表面線量率		$\beta + \gamma$ 線量率		保管場所	保管日時	物 量		再利用 ／ 減容可	コンテナNo.	測定No.
保 管 実 績 記 入 欄													m³			
													m³			
													m³			
													m³			
													m³			
													m³			
													m³			
													m³			
													m³			
													m³			
												m³				

* 線量測定は保管場所があらかじめ決まっている伐採木等は省略する。 再利用／減容が可能と推測される場合、再利用：RU、減容：VRと記載。固体庫保管時はコンテナNo.記載

※カテゴリー	①	A	可燃物	01	紙・ウエス類	02	プラスチック・ポリ・ビニール類	03	木材類	04	可燃物その他	05	—
				06	—	07	—	08	—	09	—	10	—
		B	不燃物	01	金属ガラ	02	コンクリートガラ	03	機器類・制御盤類	04	土砂類	05	塩化ビニール類
				06	保温材	07	石綿含有物	08	ケーブル類	09	アスファルトガラ	10	不燃物その他
				11	フランジタンク本体	12	フランジタンク付属品	13	石綿含有物(はつり屑等)	14	—	15	—
		C	難燃物	01	ゴム類	02	難燃シート類	03	ホース類	04	難燃物その他	05	—
		D	伐採木	01	伐採木(幹・根)	02	伐採木(枝・葉)	03	—	04	—	05	—
		②	状態	D:乾燥, W:湿気有	③	履歴	A:「1F構内にあった物」, B:「工事のために持ち込まれた物」						

注1:可燃・難燃物は原則として透明袋に収納すること。注2:伐採木の積み上げ高さは固体廃棄物管理Gの指示に従うこと。(最大で5m以下とする。)
注3:飛散抑制等必要な措置を講じ運搬し、保管エリアに応じた飛散防止(養生、容器収納等)を施し保管すること。注4:塩化ビニール類については可燃・難燃側に持込みのこと。
注5: β 汚染有の場合、表面線量率欄には「 γ 」のみの線量率を記載し、 $\beta + \gamma$ 線量率欄に「 $\beta + \gamma$ 」の線量率を記載すること。 β 汚染無の場合は、 $\beta + \gamma$ 線量率の記載不要。
注6:コンテナで持ち込む場合は、保管物名欄またはメモ欄にコンテナNo. を記載すること。

瓦 礫 類 ・ 伐 採 木 管 理 票

計上No. 6015501 - 0019

作業主管理G記入欄	保管希望日時	2019年8月22日		(木)	11:00	承認	審査	作成			
	作業件名	5, 6T RO取水ポンプ他設置工事									
	発生場所	Fエリア(J-6、K-5、F-N2~5タンク周辺)					2019/8/8	2019/8/8	2019/8/8		
	作業主管G	機械グループ			監理員		TEL				
	元請会社				担当者		TEL				
	線量測定年月日	2019/8/7	測定者		測定器名	電離式サーベイメータ	管理番号	リ-ICW-354			
G記入欄	No.	※カテゴリ				物 量	測定場所 雰囲気線量率	表面線量率	$\beta \cdot \alpha$ 汚染の有無	$\beta + \gamma$ 線量率	
		①	②	③							
	1	足場パイプ屑、クランプ	B	01	D	B	0.07 m	0.003 mSv/h	0.003 mSv/h	無	
	2	配管フランジ	B	01	D	B	0.01 m	0.003 mSv/h	0.003 mSv/h	無	
	3	番線くず	B	01	D	B	0.03 m	0.003 mSv/h	0.003 mSv/h	無	
	4	保温材(エアロフレックス)	B	10	D	B	0.03 m	0.003 mSv/h	0.003 mSv/h	無	
メ モ	5	バルブ	B	01	D	B	0.01 m	0.003 mSv/h	0.003 mSv/h	無	
	企業殿持込み										

固体廃棄物管理G記入欄				受付
受 付 番 号				
廃2019	—	08	—	0132
調整後保管日時				2019年8月22日 11:00
【保管時の指示事項等】				

線量測定内容				
測定日	2019年8月22日			
測定No.	氏名	測定器	管理番号	
1		ICW	F1-ICW-209	
2				
3				
4				

保管 実績 記入 欄	No.	枝 番	保 管 物 名	測定場所 雰囲気線量率	表面線量率	$\beta + \gamma$ 線量率	保管場所	保管日時	物 量	再利用 ／ 減容可	コンテナNo.	測定No.
	1	1	足場パイプ屑、クランプ ①	5 μ Sv/h	5 μ Sv/h		エリアP1(屋外)	2019/8/22 10:10	0.1 m ³			1
	2	1	配管フランジ ①	5 μ Sv/h	5 μ Sv/h		エリアP1(屋外)	2019/8/22 10:10	0.1 m ³			1
	3	1	番線くず ①	5 μ Sv/h	5 μ Sv/h		エリアP1(屋外)	2019/8/22 10:10	0.03 m ³			1
	4	1	保温材(エアロフレックス) ②	5 μ Sv/h	5 μ Sv/h		エリアP1(屋外)	2019/8/22 10:10	0.05 m ³			1
	5	1	バルブ ①	5 μ Sv/h	5 μ Sv/h		エリアP1(屋外)	2019/8/22 10:10	0.01 m ³			1

*線量測定は保管場所があらかじめ決まっている伐採木等は省略する。再利用/減容が可能と推測される場合、再利用:RU、減容:VRと記載。固体庫保管時はコンテナNo.記載

※カテゴリー	①	A	可燃物	01	紙・ウエス類	02	プラスチック・ポリビニール類	03	木材類	04	可燃物その他	05	—	
				06	—	07	—	08	—	09	—	10	—	
		B	不燃物	01	金属ガラ	02	コンクリートガラ	03	機器類・制御盤類	04	土砂類	05	塩化ビニール類	
				06	保温材	07	石綿含有物	08	ケーブル類	09	アスファルトガラ	10	不燃物その他	
				11	フランジタンク本体	12	フランジタンク付属品	13	石綿含有物(はつり屑等)	14	—	15	—	
		C	難燃物	01	ゴム類	02	難燃シート類	03	ホース類	04	難燃物その他	05	—	
				D	伐採木	01	伐採木(幹・根)	02	伐採木(枝・葉)	03	—	04	—	05
		②	状態			D:乾燥, W:湿気有		③	履歴	A:「1F構内にあった物」, B:「工事のために持ち込まれた物」				

注1:可燃・難燃物は原則として透明袋に収納すること。注2:伐採木の積み上げ高さは固体廃棄物管理Gの指示に従うこと。(最大で5m以下とする。)
 注3:飛散抑制等必要な措置を講じ運搬し、保管エリアに応じた飛散防止(養生、容器収納等)を施し保管すること。注4:塩化ビニール類については可燃・難燃側に持込みのこと。
 注5: β 汚染有の場合、表面線量率欄には「 γ 」のみの線量率を記載し、 $\beta + \gamma$ 線量率欄に「 $\beta + \gamma$ 」の線量率を記載すること。 β 汚染無の場合は、 $\beta + \gamma$ 線量率の記載不要。
 注6:コンテナで持ち込む場合は、保管物名欄またはメモ欄にコンテナNo.を記載すること。

瓦礫類・伐採木管理票 (別紙)

作業 主管 G 記入 欄	No.	保管物名	※カテゴリ			物 量	測定場所 雰囲気線量率		表面線量率		$\beta \cdot \alpha$ 汚染の 有無	$\beta + \gamma$ 線量率		
			①	②	③									
	6	防災シート	B	10	D	B	0.03	m ²	0.003	mSv/h	0.003	mSv/h		
	7						m ²							
	8						m ²							
	9						m ²							
	10						m ²							

固体廃棄物管理G記入欄					
受付番号	廃2019	—	08	—	0132

	No.	枝番	保管物名	測定場所 雰囲気線量率		表面線量率		$\beta + \gamma$ 線量率		保管場所	保管日時	物 量		再利用 ／ 減容可	コンテナNo.	測定No.
保 管 実 績 記 入 欄	6	1	防災シート②	5	$\mu\text{Sv/h}$	5	$\mu\text{Sv/h}$			エリアP1(屋外)	2019/8/22 10:10	0.1	m³			1
													m³			
													m³			
													m³			
													m³			
													m³			
													m³			
													m³			
													m³			
													m³			

* 線量測定は保管場所があらかじめ決まっている伐採木等は省略する。 再利用／減容が可能と推測される場合、再利用：RU、減容：VRと記載。固体庫保管時はコンテナNo.記載

※カテゴリー	①	A	可燃物	01	紙・ウェス類	02	プラスチック・ポリ・ビニール類	03	木材類	04	可燃物その他	05	—
				06	—	07	—	08	—	09	—	10	—
		B	不燃物	01	金属ガラ	02	コンクリートガラ	03	機器類・制御盤類	04	土砂類	05	塩化ビニール類
				06	保温材	07	石綿含有物	08	ケーブル類	09	アスファルトガラ	10	不燃物その他
				11	フランジタンク本体	12	フランジタンク付属品	13	石綿含有物(はつり屑等)	14	—	15	—
		C	難燃物	01	ゴム類	02	難燃シート類	03	ホース類	04	難燃物その他	05	—
		D	伐採木	01	伐採木(幹・根)	02	伐採木(枝・葉)	03	—	04	—	05	—
		②	状態	D:乾燥, W:湿気有	③	履歴	A:「1F構内にあった物」, B:「工事のために持ち込まれた物」						

注1:可燃・難燃物は原則として透明袋に収納すること。注2:伐採木の積み上げ高さは固体廃棄物管理Gの指示に従うこと。(最大で5m以下とする。)
注3:飛散抑制等必要な措置を講じ運搬し、保管エリアに応じた飛散防止(養生、容器収納等)を施し保管すること。注4:塩化ビニール類については可燃・難燃側に持込みのこと。
注5:β汚染有の場合、表面線量率欄には「γ」のみの線量率を記載し、β+γ線量率欄に「β+γ」の線量率を記載すること。β汚染無の場合は、β+γ線量率の記載不要。
注6:コンテナで持ち込む場合は、保管物名欄またはメモ欄にコンテナNo. を記載すること。

瓦 礫 類 ・ 伐 採 木 管 理 票

計上No. 6013112 - 0002

作業 主 管 G 記 入 欄	保管希望日時	2019年8月22日		(木)	8:00		承認	審査	作成		
	作業件名	G1エリアタンク基礎他設置並びに関連除却工事									
	発生場所	残Co処理エリア						2019/8/9	2019/8/8	2019/8/8	
	作業主管G	貯留設備土木グループ				監理員	TEL				
	元請会社					担当者	TEL				
	線量測定年月日	2019/8/8		測定者			測定器名	ICWBL		管理番号	T-ICWBL-04
メ モ	No.	保管物名				※カテゴリ	物 量	測定場所 雰囲気線量率	表面線量率	β ・ α 汚染の有無	β ・ γ 線量率
	1	コンクリートガラ				B 02 D B	5 m ³	0.002 mSv/h	0.002 mSv/h	無	
	2						m ³				
	3						m ³				
	4						m ³				
	5						m ³				
メ モ	10tダンプ(5m ³)×1台=5m ³ コンクリートガラ搬出いたします。										

固体廃棄物管理G記入欄				受付
受 付 番 号				
廃2019	—	08	—	0133
				2019/8/9
調整後保管日時		2019年8月22日		8:00
【保管時の指示事項等】				

線量測定内容			
測定日	2019年8月22日		
測定No.	氏名	測定器	管理番号
1		ICWBL	F1-ICWBL-42
2			
3			
4			

保管 実 績 記 入 欄	No.	枝番	保管物名	測定場所 雰囲気線量率	表面線量率	β ・ γ 線量率	保管場所	保管日時	物 量	再利用 減容可	コンテナNo.	測定No.
	1	1	コンクリートガラ①	5 μ Sv/h	5 μ Sv/h		エリアC	2019/8/22 8:00	5 m ³			1
									m ³			
									m ³			
									m ³			
メ モ	*線量測定は保管場所があらかじめ決まっている伐採木等は省略する。再利用/減容が可能と推測される場合、再利用:RU、減容:VRと記載。固体庫保管時はコンテナNo.記載											

※カ テ ゴ リ	①	A	可燃物	01	紙・ウエス類	02	プラスチック・ポリ・ビニール類	03	木材類	04	可燃物その他	05	—
				06	—	07	—	08	—	09	—	10	—
		B	不燃物	01	金属ガラ	02	コンクリートガラ	03	機器類・制御盤類	04	土砂類	05	塩化ビニール類
				06	保温材	07	石綿含有物	08	ケーブル類	09	アスファルトガラ	10	不燃物その他
				11	フランジタンク本体	12	フランジタンク付属品	13	石綿含有物(はつり屑等)	14	—	15	—
		C	難燃物	01	ゴム類	02	難燃シート類	03	ホース類	04	難燃物その他	05	—
	01			伐採木(幹・根)	02	伐採木(枝・葉)	03	—	04	—	05	—	
	②	状 態	D:乾燥, W:湿気有		③	履 歴	A:「1F構内にあった物」, B:「工事のために持ち込まれた物」						

注1:可燃・難燃物は原則として透明袋に収納すること。注2:伐採木の積み上げ高さは固体廃棄物管理Gの指示に従うこと。(最大で5m以下とする。)

注3:飛散抑制等必要な措置を講じ運搬し、保管エリアに応じた飛散防止(養生、容器収納等)を施し保管すること。注4:塩化ビニール類については可燃・難燃側に持込みのこと。

注5: β 汚染有の場合、表面線量率欄には「 γ 」のみの線量率を記載し、 β ・ γ 線量率欄に「 β ・ γ 」の線量率を記載すること。 β 汚染無の場合は、 β ・ γ 線量率の記載不要。

注6:コンテナで持ち込む場合は、保管物名欄またはメモ欄にコンテナNo.を記載すること。

瓦 礫 類 ・ 伐 採 木 管 理 票

計上No. 6013402 - 0040

作業 主 管 G 記 入 欄	保管希望日時	2019年8月22日		(木)	9:00		承認	審査	作成		
	作業件名	5・6号機建屋内清掃業務委託(その3)									
	発生場所	5号機 T/B 屋上					2019/8/8	2019/8/8	2019/8/8		
	作業主管G	機械グループ			監理員			TEL			
	元請会社				担当者			TEL			
	線量測定年月日	2019/8/7		測定者			測定器名	SC	管理番号	F1-SC-069	
	No.	※カテゴリ				物 量	測定場所 雰囲気線量率	表面線量率	$\beta \cdot \alpha$ 汚染の有無	$\beta + \gamma$ 線量率	
		①	②	③							
	1	紙・ウエス類	A	01	D	B	0.3 m ²	0.5 μ Sv/h	1 μ Sv/h	無	
	2	木材類	A	03	D	A	0.5 m ²	0.5 μ Sv/h	1 μ Sv/h	無	
	3	不燃物その他(空調フィルタ)	B	10	D	A	0.5 m ²	0.5 μ Sv/h	2 μ Sv/h	無	
	4	金属ガラ	B	01	D	A	0.5 m ²	0.5 μ Sv/h	1 μ Sv/h	無	
	5	難燃シート	C	02	D	B	0.5 m ²	0.5 μ Sv/h	1 μ Sv/h	無	
メモ	注: α 有、 $\beta \alpha$ 有の場合、 α 線量情報をここに記載のこと。										

固体廃棄物管理G記入欄				受付
受 付 番 号				
廃2019	—	08	—	0135
				2019/8/9
調整後保管日時		2019年8月22日		9:00
【保管時の指示事項等】				

線量測定内容			
測定日	2019年8月22日		
測定No.	氏名	測定器	管理番号
1		ICW	F1-ICW-179
2		ICW	F1-ICW-209
3			
4			

保管 実績 記 入 欄	No.	枝 番	保 管 物 名	測定場所 雰囲気線量率	表面線量率	$\beta + \gamma$ 線量率	保管場所	保管日時	物 量	再利用 減容可	コンテナNo.	測定No.
	1	1	紙・ウエス類	2 μ Sv/h	2 μ Sv/h		エリアO	2019/8/22 8:45	0.05 m ²			1
	2	1	木材類	2 μ Sv/h	2 μ Sv/h		エリアO	2019/8/22 8:45	0.1 m ²			1
	3	1	不燃物その他(空調フィルタ) ②	5 μ Sv/h	5 μ Sv/h		エリアPI(屋外)	2019/8/22 9:00	0.1 m ²			2
	4	1	金属ガラ ①	5 μ Sv/h	5 μ Sv/h		エリアPI(屋外)	2019/8/22 9:00	0.05 m ²			2
	5	1	難燃シート	2 μ Sv/h	2 μ Sv/h		エリアO	2019/8/22 8:45	0.01 m ²			1

* 線量測定は保管場所があらかじめ決まっている伐採木等は省略する。 再利用/減容が可能と推測される場合、再利用:RU、減容:VRと記載。固体庫保管時はコンテナNo.記載

メモ	
----	--

※カテゴリー	①	A	可燃物	01	紙・ウエス類	02	プラスチック・ポリ・ビニール類	03	木材類	04	可燃物その他	05	—
				06	—	07	—	08	—	09	—	10	—
		B	不燃物	01	金属ガラ	02	コンクリートガラ	03	機器類・制御盤類	04	土砂類	05	塩化ビニール類
				06	保温材	07	石綿含有物	08	ケーブル類	09	アスファルトガラ	10	不燃物その他
				11	フランジタンク本体	12	フランジタンク付属品	13	石綿含有物(はつり屑等)	14	—	15	—
		C	難燃物	01	ゴム類	02	難燃シート類	03	ホース類	04	難燃物その他	05	—
				D	伐採木	01	伐採木(幹・根)	02	伐採木(枝・葉)	03	—	04	—
		②	状態			D:乾燥, W:湿気有	③	履歴	A:「1F構内にあった物」, B:「工事のために持ち込まれた物」				

注1:可燃・難燃物は原則として透明袋に収納すること。 注2:伐採木の積み上げ高さは固体廃棄物管理Gの指示に従うこと。(最大で5m以下とする。)
 注3:飛散抑制等必要な措置を講じ運搬し、保管エリアに応じた飛散防止(養生、容器収納等)を施し保管すること。 注4:塩化ビニール類については可燃・難燃側に持込みのこと。
 注5: β 汚染有の場合、表面線量率欄には「 γ 」のみの線量率を記載し、 $\beta + \gamma$ 線量率欄に「 $\beta + \gamma$ 」の線量率を記載すること。 β 汚染無の場合は、 $\beta + \gamma$ 線量率の記載不要。
 注6:コンテナで持ち込む場合は、保管物名欄またはメモ欄にコンテナNo. を記載すること。

瓦 礫 類 ・ 伐 採 木 管 理 票

計上No. 6013705 - 0029

作業主 管 G 記 入 欄	保管希望日時	2019年8月19日		(月)	9:30	承認	審査	作成		
	作業件名	1F2～4号機 タービン建屋滞留水浮上油回収委託(H31)								
	発生場所	福島第一原子力発電所 3. 4号機サービス建屋					2019/8/9	2019/8/9	2019/8/9	
	作業主管G	地下水対策グループ			監理員		TEL			
	元請会社				担当者		TEL			
	線量測定年月日	2019/8/9	測定者		測定器名	ICS-1323		管理番号	GR00073719	
	No.	※カテゴリ			物 量	測定場所 雰囲気線量率	表面線量率	β・α 汚染の有無	β+γ 線量率	
	1	コンクリートガラ	B	02	D	A	3 m ²	0.02 mSv/h	0.02 mSv/h	無
	2						m ²			
	3						m ²			
	4						m ²			
	5						m ²			
メモ	注: α有、β α有の場合、α線量情報をここに記載のこと。									

固体廃棄物管理G記入欄				受付
受 付 番 号				
廃2019	—	08	—	0137
				2019/8/9
調整後保管日時		2019年8月19日		9:30
【保管時の指示事項等】				

線量測定内容			
測定日	2019年8月19日		
測定No.	氏名	測定器	管理番号
1		ICW	F1-ICW-209
2			
3			
4			

保管実績記入欄	No.	枝番	保管物名	測定場所 雰囲気線量率	表面線量率	β+γ 線量率	保管場所	保管日時	物 量	再利用 減容可	コンテナNo.	測定No.
	1	1	コンクリートガラ①	5 μSv/h	5 μSv/h		エリアC	2019/8/19 9:30	2 m ²			1
									m ²			
									m ²			
									m ²			
									m ²			

*線量測定は保管場所があらかじめ決まっている伐採木等は省略する。再利用／減容が可能と推測される場合、再利用:RU、減容:VRと記載。固体庫保管時はコンテナNo.記載

※カテゴリー	①	A	可燃物	01	紙・ウエス類	02	プラスチック・ポリ・ビニール類	03	木材類	04	可燃物その他	05	—	
				06	—	07	—	08	—	09	—	10	—	
		B	不燃物	01	金属ガラ	02	コンクリートガラ	03	機器類・制御盤類	04	土砂類	05	塩化ビニール類	
				06	保温材	07	石綿含有物	08	ケーブル類	09	アスファルトガラ	10	不燃物その他	
				11	フランジタンク本体	12	フランジタンク付属品	13	石綿含有物(はつり屑等)	14	—	15	—	
		C	難燃物	01	ゴム類	02	難燃シート類	03	ホース類	04	難燃物その他	05	—	
		D	伐採木	01	伐採木(幹・根)	02	伐採木(枝・葉)	03	—	04	—	05	—	
		②	状態	D:乾燥, W:湿気有	③	履歴	A:「1F構内にあった物」、B:「工事のために持ち込まれた物」							

注1:可燃・難燃物は原則として透明袋に収納すること。注2:伐採木の積み上げ高さは固体廃棄物管理Gの指示に従うこと。(最大で5m以下とする。)

注3:飛散抑制等必要な措置を講じ運搬し、保管エリアに応じた飛散防止(養生、容器収納等)を施し保管すること。注4:塩化ビニール類については可燃・難燃側に持込みのこと。

注5:β汚染有の場合、表面線量率欄には「γ」のみの線量率を記載し、β+γ線量率欄に「β+γ」の線量率を記載すること。β汚染無の場合は、β+γ線量率の記載不要。

注6:コンテナで持ち込む場合は、保管物名欄またはメモ欄にコンテナNo.を記載すること。

瓦 礫 類 ・ 伐 採 木 管 理 票

計上No. 6013705 - 0029

作 業 主 管 入 欄	保管希望日時	2019年8月20日		(火)	9:30		承認	審査	作成		
	作業件名	1F2～4号機 タービン建屋滞留水浮上油回収委託(H31)									
	発生場所	福島第一原子力発電所 3. 4号機サービス建屋						2019/8/9	2019/8/9		
	作業主管G	地下水対策グループ			監理員		TEL				
	元請会社				担当者		TEL				
G 記 入 欄	線量測定年月日	2019/8/9		測定者			測定器名	ICS-1323			
	No.	保管物名	※カテゴリ			物 量	測定場所 雰囲気線量率	表面線量率	β・α 汚染の有無	β+γ 線量率	
			①	②	③						
	1	紙・ウェス類	A	01	D	B	2 m ²	0.03 mSv/h	0.08 mSv/h	無	
	2	ビニール類	A	02	D	B	1 m ²	0.03 mSv/h	0.08 mSv/h	無	
3	難燃シート	C	02	D	B	1 m ²	0.03 mSv/h	0.08 mSv/h	無		
4						m ²					
5						m ²					
メ モ	注: α有、β α有の場合、α線量情報をここに記載のこと。										

固体廃棄物管理G記入欄				受付
受 付 番 号				
廃2019	—	08	—	0138
				2019/8/9
調整後保管日時		2019年8月20日		9:30
【保管時の指示事項等】				

線量測定内容			
測定日	2019年8月20日		
測定No.	氏名	測定器	管理番号
1		ICW	F1-ICW-179
2			
3			
4			

保管実績記入欄	No.	枝番	保管物名	測定場所 雰囲気線量率	表面線量率	β+γ 線量率	保管場所	保管日時	物 量	再利用 減容可	コンテナNo.	測定No.
1	1	紙・ウェス類	2 μSv/h	2 μSv/h		エリアV(瓦礫類)	2019/8/20 9:10	0.7 m ²				1
2	1	ビニール類	2 μSv/h	2 μSv/h		エリアV(瓦礫類)	2019/8/20 9:10	1 m ²				1
3	1	難燃シート	2 μSv/h	2 μSv/h		エリアV(瓦礫類)	2019/8/20 9:10	0.5 m ²				1
								m ²				
								m ²				

* 線量測定は保管場所があらかじめ決まっている伐採木等は省略する。再利用／減容が可能と推測される場合、再利用:RU、減容:VRと記載。固体庫保管時はコンテナNo.記載

メ モ	
--------	--

※カテゴリー	①	A	可燃物	01 紙・ウェス類	02 プラスチック・ポリ・ビニール類	03 木材類	04 可燃物その他	05	—	
				06 —	07 —	08 —	09 —	10 —		
		B	不燃物	01 金属ガラ	02 コンクリートガラ	03 機器類・制御盤類	04 土砂類	05 塩化ビニール類		
				06 保温材	07 石綿含有物	08 ケーブル類	09 アスファルトガラ	10 不燃物その他		
				11 フランジタンク本体	12 フランジタンク付属品	13 石綿含有物(はつり屑等)	14 —	15 —		
		C	難燃物	01 ゴム類	02 難燃シート類	03 ホース類	04 難燃物その他	05	—	
		D	伐採木	01 伐採木(幹・根)	02 伐採木(枝・葉)	03 —	04 —	05	—	
		②	状態	D:乾燥, W:湿気有	③	履歴	A:「1F構内にあった物」, B:「工事のために持ち込まれた物」			

注1: 可燃・難燃物は原則として透明袋に収納すること。注2: 伐採木の積み上げ高さは固体廃棄物管理Gの指示に従うこと。(最大で5m以下とする。)
 注3: 飛散抑制等必要な措置を講じ運搬し、保管エリアに応じた飛散防止(養生、容器収納等)を施し保管すること。注4: 塩化ビニール類については可燃・難燃側に持込みのこと。
 注5: β汚染有の場合、表面線量率欄には「γ」のみの線量率を記載し、β+γ線量率欄に「β+γ」の線量率を記載すること。β汚染無の場合は、β+γ線量率の記載不要。
 注6: コンテナで持ち込む場合は、保管物名欄またはメモ欄にコンテナNo. を記載すること。

瓦 礫 類 ・ 伐 採 木 管 理 票

計上No. 6015501 - 0022

作業 主 管 欄	保管希望日時	2019年8月21日		(水)	9:00		承認	審査	作成		
	作業件名	1F-5, 6T 滞留水浄化装置設置									
	発生場所	Fエリア(N1~N5タンク設置)						2019/8/9	2019/8/9	2019/8/9	
	作業主管G	機械グループ				監理員		TEL			
	元請会社					担当者		TEL			
G 記 入 欄	線量測定年月日	2019/8/7		測定者			測定器名	電離箱サーベイメータ		管理番号	F1-ICW-108F1-ICWBL-30
	No.	保管物名				※カテゴリ	物 量	測定場所 雰囲気線量率	表面線量率	$\beta \cdot \alpha$ 汚染の有無	$\beta + \gamma$ 線量率
			①	②	③						
	1	紙・ウエス類	A	01	D	B	2 m ²	0.01 mSv/h	0.01 mSv/h	無	
	2	プラスチック・ポリ・ビニール類	A	02	D	B	1 m ²	0.01 mSv/h	0.01 mSv/h	無	
3	可燃物その他	A	04	D	B	1 m ²	0.01 mSv/h	0.01 mSv/h	無		
4	難燃シート類	C	02	D	B	1 m ²	0.01 mSv/h	0.01 mSv/h	無		
5						m ²					

注: α 有、 $\beta \cdot \alpha$ 有の場合、 α 線量情報をここに記載のこと。
企業殿持込み

固体廃棄物管理G記入欄				受付
受 付 番 号				
廃2019	—	08	—	0140
				2019/8/9
調整後保管日時		2019年8月21日		9:00
【保管時の指示事項等】				

線量測定内容				
測定日	2019年8月21日			
測定No.	氏名	測定器	管理番号	
1		ICW	F1-ICW-179	
2				
3				
4				

保管 実績 記 入 欄	No.	枝 番	保 管 物 名	測定場所 雰囲気線量率	表面線量率	$\beta + \gamma$ 線量率	保管場所	保管日時	物 量	再利用 減容可	コンテナNo.	測定No.
	1	1	紙・ウエス類	2 μ Sv/h	30 μ Sv/h		エリアO	2019/8/21 8:40	1.3 m ²			1
	2	1	プラスチック・ポリ・ビニール類	2 μ Sv/h	7 μ Sv/h		エリアO	2019/8/21 8:40	2 m ²			1
	3	1	可燃物その他	2 μ Sv/h	2 μ Sv/h		エリアO	2019/8/21 8:40	0.2 m ²			1
	4	1	難燃シート類	2 μ Sv/h	4 μ Sv/h		エリアO	2019/8/21 8:40	0.02 m ²			1

* 線量測定は保管場所があらかじめ決まっている伐採木等は省略する。再利用/減容が可能と推測される場合、再利用:RU、減容:VRと記載。固体庫保管時はコンテナNo.記載

※カ テ ゴ リ	①	A	可 燃 物	01	紙・ウエス類	02	プラスチック・ポリ・ビニール類	03	木材類	04	可燃物その他	05	—	
				06	—	07	—	08	—	09	—	10	—	
		B	不 燃 物	01	金属ガラ	02	コンクリートガラ	03	機器類・制御盤類	04	土砂類	05	塩化ビニール類	
				06	保温材	07	石綿含有物	08	ケーブル類	09	アスファルトガラ	10	不燃物その他	
				11	フランジタンク本体	12	フランジタンク付属品	13	石綿含有物(はつり屑等)	14	—	15	—	
		C	難燃物	01	ゴム類	02	難燃シート類	03	ホース類	04	難燃物その他	05	—	
		D	伐採木	01	伐採木(幹・根)	02	伐採木(枝・葉)	03	—	04	—	05	—	
		②	状 態	D:乾燥, W:湿気有	③	履 歴	A:「1F構内にあった物」, B:「工事のために持ち込まれた物」							

注1:可燃・難燃物は原則として透明袋に収納すること。注2:伐採木の積み上げ高さは固体廃棄物管理Gの指示に従うこと。(最大で5m以下とする。)
注3:飛散抑制等必要な措置を講じ運搬し、保管エリアに応じた飛散防止(養生、容器収納等)を施し保管すること。注4:塩化ビニール類については可燃・難燃側に持込みのこと。
注5: β 汚染有の場合、表面線量率欄には「 γ 」のみの線量率を記載し、 $\beta + \gamma$ 線量率欄に「 $\beta + \gamma$ 」の線量率を記載すること。 β 汚染無の場合は、 $\beta + \gamma$ 線量率の記載不要。
注6:コンテナで持ち込む場合は、保管物名欄またはメモ欄にコンテナNo. を記載すること。

瓦 礫 類 ・ 伐 採 木 管 理 票

計上No. 8012321 - 0008

作業 主 管 G 記 入 欄	保管希望日時	2019年8月19日		(月)	8:30		承認	審査	作成		
	作業件名	1F フランジタンク除染・保管委託									
	発生場所	大型機器点検建屋						2019/8/16	2019/8/16	2019/8/15	
	作業主管G	廃棄物計画グループ				監理員	TEL				
	元請会社					担当者	TEL				
	線量測定年月日	2019/8/7		測定者			測定器名	ICWBL ICW		管理番号	F1-ICWBL-67F110W-139
メ モ	No.	保管物名				※カテゴリ	物 量	測定場所 雰囲気線量率	表面線量率	β・α 汚染の有無	β + γ 線量率
		①	②	③							
	1	TEPU-170249 フランジタンク本体	B	11	D	A	21 m ²	0.002 mSv/h	0.01 mSv/h	β 有	15 mSv/h
	2	TEPU-170109 フランジタンク本体	B	11	D	A	21 m ²	0.002 mSv/h	0.008 mSv/h	β 有	10 mSv/h
	3	TEPU-170134 フランジタンク本体	B	11	D	A	21 m ²	0.002 mSv/h	0.012 mSv/h	β 有	32 mSv/h
4						m ²					
5						m ²					
B,Gを差し引いたコンテナ表面線量率 TEPU-170249:0.001mSv/h TEPU-170109:0.001mSv/h、TEPU-170134:0.001mSv/h											

固体廃棄物管理G記入欄				受付
受 付 番 号				
廃2019	—	08	—	0141
				2019/8/16
調整後保管日時		2019年8月19日		8:30
【保管時の指示事項等】				

線量測定内容			
測定日	2019年8月19日		
測定No.	氏名	測定器	管理番号
1		ICWBL	F1-ICWBL-115
2			
3			
4			

保管 実績 記 入 欄	No.	枝 番	保 管 物 名	測定場所 雰囲気線量率	表面線量率	β + γ 線量率	保管場所	保管日時	物 量	再利用 減容可	コンテナNo.	測定No.
	1	1	TEPU-170249 フランジタンク本体	1 μSv/h	1 μSv/h	1 μSv/h	エリアAA	2019/8/19 9:10	21 m ²		170249	1
	2	1	TEPU-170109 フランジタンク本体	1 μSv/h	1 μSv/h	1 μSv/h	エリアAA	2019/8/19 9:40	21 m ²		170109	1
	3	1	TEPU-170134 フランジタンク本体	1 μSv/h	1 μSv/h	1 μSv/h	エリアAA	2019/8/19 8:30	21 m ²		170134	1
									m ²			
									m ²			

* 線量測定は保管場所があらかじめ決まっている伐採木等は省略する。再利用／減容が可能と推測される場合、再利用:RU、減容:VRと記載。固体庫保管時はコンテナNo.記載

メ モ	
--------	--

※カ テ ゴ リ	①	A	可 燃 物	01 紙・ウエス類	02 プラスチック・ポリ・ビニール類	03 木材類	04 可燃物その他	05	—		
				06 —	07 —	08 —	09 —	10 —			
		B	不 燃 物	01 金属ガラ	02 コンクリートガラ	03 機器類・制御盤類	04 土砂類	05	塩化ビニール類		
				06 保温材	07 石綿含有物	08 ケーブル類	09 アスファルトガラ	10	不燃物その他		
				11 フランジタンク本体	12 フランジタンク付属品	13 石綿含有物(はつり屑等)	14	—	15	—	
		C	難燃物	01 ゴム類	02 難燃シート類	03 ホース類	04 難燃物その他	05	—		
				D	伐 採 木	01 伐採木(幹・根)	02 伐採木(枝・葉)	03	—	04	—
		②	- 状 態			D:乾燥, W:湿気有	③	履 歴	A:「1F構内にあった物」、B:「工事のために持ち込まれた物」		

注1:可燃・難燃物は原則として透明袋に収納すること。注2:伐採木の積み上げ高さは固体廃棄物管理Gの指示に従うこと。(最大で5m以下とする。)
 注3:飛散抑制等必要な措置を講じ運搬し、保管エリアに応じた飛散防止(養生、容器収納等)を施し保管すること。注4:塩化ビニール類については可燃・難燃側に持込みのこと。
 注5:β汚染有の場合、表面線量率欄には「γ」のみの線量率を記載し、β + γ線量率欄に「β + γ」の線量率を記載すること。β汚染無の場合は、β + γ線量率の記載不要。
 注6:コンテナで持ち込む場合は、保管物名欄またはメモ欄にコンテナNo. を記載すること。

瓦 礫 類 ・ 伐 採 木 管 理 票

計上No. 6012601 - 0031

作業 主 管 G 記 入 欄	保管希望日時	2019年8月22日		(木)	10:00		承認	審査	作成	
	作業件名	バッファタンク取替関連除却工事								
	発生場所	高台バッファタンクエリア					2019/8/14	2019/8/14	2019/8/14	
	作業主管G	原子炉冷却グループ			監理員		TEL			
	元請会社				担当者		TEL			
メ モ	線量測定年月日	2019/8/7	測定者		測定器名	ICW-BL		管理番号	1F-ICW-BL-98	
	No.	※カテゴリ			物 量	測定場所 雰囲気線量率	表面線量率	$\beta \cdot \alpha$ 汚染の有無	$\beta + \gamma$ 線量率	
		①	②	③						
	1	板金・金属ガラ	B	01	D	A	8 m ²	0.43 mSv/h	0.43 mSv/h	無
	2	制御盤	B	03	D	A	2 m ²	0.43 mSv/h	0.43 mSv/h	無
3						m ²				
4						m ²				
5						m ²				
注: α 有、 $\beta \alpha$ 有の場合、 α 線量情報をここに記載のこと。										

固体廃棄物管理G記入欄				受付
受 付 番 号				
廃2019	—	08	—	0142
				2019/8/15
調整後保管日時		2019年8月22日		10:00
【保管時の指示事項等】				

線量測定内容				
測定日	2019年8月22日			
測定No.	氏名	測定器	管理番号	
1		ICWBL	F1-ICWBL-42	
2				
3				
4				

保管 実績 記入 欄	No.	枝 番	保 管 物 名	測定場所 雰囲気線量率	表面線量率	$\beta + \gamma$ 線量率	保管場所	保管日時	物 量	再利用 ／ 減容可	コンテナNo.	測定No.
	1	1	板金・金属ガラ①	5 μ Sv/h	5 μ Sv/h		エリアP1(屋外)	2019/8/22 9:30	4 m ²			1
	2	1	制御盤①	5 μ Sv/h	5 μ Sv/h		エリアP1(屋外)	2019/8/22 9:30	2 m ²			1
									m ²			
									m ²			
									m ²			

* 線量測定は保管場所があらかじめ決まっている伐採木等は省略する。再利用／減容が可能と推測される場合、再利用:RU、減容:VRと記載。固体庫保管時はコンテナNo.記載

メ
モ

※カ テ ゴ リ	①	A	可 燃 物	01	紙・ウエス類	02	プラスチック・ポリ・ビニール類	03	木材類	04	可燃物その他	05	—
				06	—	07	—	08	—	09	—	10	—
		B	不 燃 物	01	金属ガラ	02	コンクリートガラ	03	機器類・制御盤類	04	土砂類	05	塩化ビニール類
				06	保温材	07	石綿含有物	08	ケーブル類	09	アスファルトガラ	10	不燃物その他
				11	フランジタンク本体	12	フランジタンク付属品	13	石綿含有物(はつり屑等)	14	—	15	—
		C	難 燃 物	01	ゴム類	02	難燃シート類	03	ホース類	04	難燃物その他	05	—
				D	伐 採 木	01	伐採木(幹・根)	02	伐採木(枝・葉)	03	—	04	—
		②	状 態			D:乾燥, W:湿気有		③	履 歴	A:「1F構内にあった物」, B:「工事のために持ち込まれた物」			

注1:可燃・難燃物は原則として透明袋に収納すること。注2:伐採木の積み上げ高さは固体廃棄物管理Gの指示に従うこと。(最大で5m以下とする。)

注3:飛散抑制等必要な措置を講じ運搬し、保管エリアに応じた飛散防止(養生、容器収納等)を施し保管すること。注4:塩化ビニール類については可燃・難燃側に持込みのこと。

注5: β 汚染有の場合、表面線量率欄には「 γ 」のみの線量率を記載し、 $\beta + \gamma$ 線量率欄に「 $\beta + \gamma$ 」の線量率を記載すること。 β 汚染無の場合は、 $\beta + \gamma$ 線量率の記載不要。

注6:コンテナで持ち込む場合は、保管物名欄またはメモ欄にコンテナNo. を記載すること。

瓦 礫 類 ・ 伐 採 木 管 理 票

計上No. 6012601 - 0031

作業 主 管 G 記 入 欄	保管希望日時	2019年8月23日		(金)	10:00		承認	審査	作成	
	作業件名	パツファタンク取替関連除却工事								
	発生場所	高台パツファタンクエリア						2019/8/14	2019/8/14	2019/8/14
	作業主管G	原子炉冷却グループ				監理員	TEL			
	元請会社					担当者	TEL			
メ モ	線量測定年月日	2019/8/7	測定者			測定器名	ICW-BL		管理番号	1F-ICW-BL-98
	No.	※カテゴリ				物 量	測定場所 雰囲気線量率	表面線量率	$\beta \cdot \alpha$ 汚染の有無	$\beta + \gamma$ 線量率
		①	②	③						
	1	板金・金属ガラ	B	01	D	A	5 m ²	0.01 mSv/h	0.01 mSv/h	β 有 0.078 mSv/h
	2	保温材 エアロ	B	06	D	A	5 m ²	0.01 mSv/h	0.01 mSv/h	β 有 0.085 mSv/h
3						m ²				
4						m ²				
5						m ²				
注: α 有、 $\beta \alpha$ 有の場合、 α 線量情報をここに記載のこと。										

固体廃棄物管理G記入欄				受付
受 付 番 号				
廃2019	—	08	—	0143
				2019/8/15
調整後保管日時		2019年8月23日		10:00
【保管時の指示事項等】				

線量測定内容				
測定日	2019年8月23日			
測定No.	氏名	測定器	管理番号	
1		ICWBL	F1-ICWBL-42	
2				
3				
4				

保管 実績 記入 欄	No.	枝 番	保 管 物 名	測定場所 雰囲気線量率	表面線量率	$\beta + \gamma$ 線量率	保管場所	保管日時	物 量	再利用 減容可	コンテナNo.	測定No.
	1	1	板金・金属ガラ	5 μ Sv/h	5 μ Sv/h	15 μ Sv/h	エリアW1	2019/8/23 10:15	5 m ²		ZK-00460	1
	2	1	保温材 エアロ	5 μ Sv/h	5 μ Sv/h	15 μ Sv/h	エリアW1	2019/8/23 10:15	2.5 m ²		FU-00002	1
									m ²			
									m ²			
									m ²			

* 線量測定は保管場所があらかじめ決まっている伐採木等は省略する。再利用/減容が可能と推測される場合、再利用:RU、減容:VRと記載。固体庫保管時はコンテナNo.記載

メ
モ
ZK-00460表面: BG=7 μ Sv/h, 表面線量率=15 μ Sv/h, $\beta + \gamma$ 線量率=15 μ Sv/h
FU-00002表面: BG=7 μ Sv/h, 表面線量率=7 μ Sv/h, $\beta + \gamma$ 線量率=7 μ Sv/h

※カ テ ゴ リ	①	A	可 燃 物	01	紙・ウェス類	02	プラスチック・ホリ・ビニール類	03	木材類	04	可燃物その他	05	—
				06	—	07	—	08	—	09	—	10	—
		B	不 燃 物	01	金属ガラ	02	コンクリートガラ	03	機器類・制御盤類	04	土砂類	05	塩化ビニール類
				06	保温材	07	石綿含有物	08	ケーブル類	09	アスファルトガラ	10	不燃物その他
				11	フランジタンク本体	12	フランジタンク付属品	13	石綿含有物(はつり屑等)	14	—	15	—
		C	難燃物	01	ゴム類	02	難燃シート類	03	ホース類	04	難燃物その他	05	—
				D	伐 採 木	01	伐採木(幹・根)	02	伐採木(枝・葉)	03	—	04	—
		②	状 態			D:乾燥, W:湿気有		③	履 歴	A:「1F構内にあった物」, B:「工事のために持ち込まれた物」			

注1: 可燃・難燃物は原則として透明袋に収納すること。注2: 伐採木の積み上げ高さは固体廃棄物管理Gの指示に従うこと。(最大で5m以下とする。)

注3: 飛散抑制等必要な措置を講じ運搬し、保管エリアに応じた飛散防止(養生、容器収納等)を施し保管すること。注4: 塩化ビニール類については可燃・難燃側に持込みのこと。

注5: β 汚染有の場合、表面線量率欄には「 γ 」のみの線量率を記載し、 $\beta + \gamma$ 線量率欄に「 $\beta + \gamma$ 」の線量率を記載すること。 β 汚染無の場合は、 $\beta + \gamma$ 線量率の記載不要。

注6: コンテナで持ち込む場合は、保管物名欄またはメモ欄にコンテナNo. を記載すること。

瓦 礫 類 ・ 伐 採 木 管 理 票

計上No. 6012320 - 0001

作業 主 管 G 記 入 欄	保管希望日時	2019年8月22日		(木)	10:30		承認	審査	作成			
	作業件名	1F固体廃棄物貯蔵庫保管ドラム缶等移動・管理業務委託										
	発生場所	固体廃棄物貯蔵庫						2019/8/14	2019/8/14	2019/8/14		
	作業主管G	固体廃棄物管理グループ				監理員	TEL					
	元請会社					担当者	TEL					
メ モ	線量測定年月日	2019/8/14		測定者			測定器名	ICWBL		管理番号	F1-ICWBL-115	
	No.	保管物名			※カテゴリ		物 量	測定場所 雰囲気線量率	表面線量率	$\beta \cdot \alpha$ 汚染の有無	$\beta + \gamma$ 線量率	
	1	金属ガラ			B	01	D	A	14 m ³	0.001 mSv/h	0.003 mSv/h	無
	2								m ³			
	3								m ³			
4								m ³				
5								m ³				
注: α 有、 $\beta \alpha$ 有の場合、 α 線量情報をここに記載のこと。												

固体廃棄物管理G記入欄				受付
受 付 番 号				2019/8/15
廃2019	—	08	—	
調整後保管日時		2019年8月22日		10:30
【保管時の指示事項等】				

線量測定内容			
測定日	2019年8月22日		
測定No.	氏名	測定器	管理番号
1		ICWBL	F1-ICWBL-42
2			
3			
4			

保管 実 績 記 入 欄	No.	枝番	保管物名	測定場所 雰囲気線量率	表面線量率	$\beta + \gamma$ 線量率	保管場所	保管日時	物 量	再利用 減容可	コンテナNo.	測定No.
	1	1	金属ガラ①	5 μ Sv/h	5 μ Sv/h		エリアP1(屋外)	2019/8/22 10:20	8 m ³			1
									m ³			
									m ³			
									m ³			
* 線量測定は保管場所があらかじめ決まっている伐採木等は省略する。再利用/減容が可能と推測される場合、再利用:RU、減容:VRと記載。固体庫保管時はコンテナNo.記載												
メ モ												

※カ テ ゴ リ	①	A	可燃物	01 紙・ウエス類	02 プラスチック・ホリ・ビニール類	03 木材類	04 可燃物その他	05 —
				06 —	07 —	08 —	09 —	10 —
		B	不燃物	01 金属ガラ	02 コンクリートガラ	03 機器類・制御盤類	04 土砂類	05 塩化ビニール類
				06 保温材	07 石綿含有物	08 ケーブル類	09 アスファルトガラ	10 不燃物その他
				11 フランジタンク本体	12 フランジタンク付属品	13 石綿含有物(はつり屑等)	14 —	15 —
		C	難燃物	01 ゴム類	02 難燃シート類	03 ホース類	04 難燃物その他	05 —
				01 伐採木(幹・根)	02 伐採木(枝・葉)	03 —	04 —	05 —
		D	伐採木					
		②	状 態	D:乾燥, W:湿気有	③	履 歴	A:「1F構内にあった物」, B:「工事のために持ち込まれた物」	
注1: 可燃・難燃物は原則として透明袋に収納すること。注2: 伐採木の積み上げ高さは固体廃棄物管理Gの指示に従うこと。(最大で5m以下とする。) 注3: 飛散抑制等必要な措置を講じ運搬し、保管エリアに応じた飛散防止(養生、容器収納等)を施し保管すること。注4: 塩化ビニール類については可燃・難燃側に持込みのこと。 注5: β 汚染有の場合、表面線量率欄には「 γ 」のみの線量率を記載し、 $\beta + \gamma$ 線量率欄に「 $\beta + \gamma$ 」の線量率を記載すること。 β 汚染無の場合は、 $\beta + \gamma$ 線量率の記載不要。 注6: コンテナで持ち込む場合は、保管物名欄またはメモ欄にコンテナNo. を記載すること。								

瓦 礫 類 ・ 伐 採 木 管 理 票

計上No. 6012320 - 0001

作業 主 管 G 記 入 欄	保管希望日時	2019年8月23日		(金)	10:30		承認	審査	作成
	作業件名	1F固体廃棄物貯蔵庫保管ドラム缶等移動・管理業務委託							
	発生場所	固体廃棄物貯蔵庫					2019/8/14	2019/8/14	2019/8/14
	作業主管G	固体廃棄物管理グループ			監理員		TEL		
	元請会社				担当者		TEL		
メ モ	線量測定年月日	2019/8/14		測定者			測定器名	ICWBL	
								管理番号 F1-ICWBL-115	
	No.	保管物名			※カテゴリ	物 量	測定場所 雰囲気線量率	表面線量率	$\beta \cdot \alpha$ 汚染の有無
					① ② ③				$\beta + \gamma$ 線量率
	1	金属ガラ			B 01 D A	14 m ³	0.001 mSv/h	0.003 mSv/h	無
2					m ³				
3					m ³				
4					m ³				
5					m ³				
注: α 有、 $\beta \cdot \alpha$ 有の場合、 α 線量情報をここに記載のこと。									

固体廃棄物管理G記入欄				受付
受 付 番 号				
廃2019	—	08	—	0147
				2019/8/15
調整後保管日時		2019年8月23日		10:30
【保管時の指示事項等】				

線量測定内容				
測定日	2019年8月23日			
測定No.	氏名	測定器	管理番号	
1		ICWBL	F1-ICWBL-42	
2				
3				
4				

保管 実績 記入 欄	No.	枝 番	保 管 物 名	測定場所 雰囲気線量率	表面線量率	$\beta + \gamma$ 線量率	保管場所	保管日時	物 量	再利用 減容可	コンテナNo.	測定No.
	1	1	金属ガラ①	5 μ Sv/h	5 μ Sv/h		エリアP1(屋外)	2019/8/23 10:00	8 m ³			1
									m ³			
									m ³			
									m ³			
									m ³			

* 線量測定は保管場所があらかじめ決まっている伐採木等は省略する。再利用/減容が可能と推測される場合、再利用:RU、減容:VRと記載。固体庫保管時はコンテナNo.記載

メ モ	
--------	--

※カ テ ゴ リ	①	A	可 燃 物	01	紙・ウェス類	02	プラスチック・ホリ・ビニール類	03	木材類	04	可燃物その他	05	—	
				06	—	07	—	08	—	09	—	10	—	
		B	不 燃 物	01	金属ガラ	02	コンクリートガラ	03	機器類・制御盤類	04	土砂類	05	塩化ビニール類	
				06	保温材	07	石綿含有物	08	ケーブル類	09	アスファルトガラ	10	不燃物その他	
				11	フランジタンク本体	12	フランジタンク付属品	13	石綿含有物(はつり屑等)	14	—	15	—	
		C	難 燃 物	01	ゴム類	02	難燃シート類	03	ホース類	04	難燃物その他	05	—	
				D	伐 採 木	01	伐採木(幹・根)	02	伐採木(枝・葉)	03	—	04	—	05
		②	状 態			D:乾燥, W:湿気有	③	履 歴	A:「1F構内にあった物」, B:「工事のために持ち込まれた物」					

注1:可燃・難燃物は原則として透明袋に収納すること。注2:伐採木の積み上げ高さは固体廃棄物管理Gの指示に従うこと。(最大で5m以下とする。)
 注3:飛散抑制等必要な措置を講じ運搬し、保管エリアに応じた飛散防止(養生、容器収納等)を施し保管すること。注4:塩化ビニール類については可燃・難燃側に持込みのこと。
 注5: β 汚染有の場合、表面線量率欄には「 γ 」のみの線量率を記載し、 $\beta + \gamma$ 線量率欄に「 $\beta + \gamma$ 」の線量率を記載すること。 β 汚染無の場合は、 $\beta + \gamma$ 線量率の記載不要。
 注6:コンテナで持ち込む場合は、保管物名欄またはメモ欄にコンテナNo. を記載すること。

瓦 礫 類 ・ 伐 採 木 管 理 票

計上No. 6012502 - 0004

作業 主 管 G 記 入 欄 メ モ	保管希望日時	2019年8月22日		(木)	9:30	承認	審査	作成		
	作業件名	1-4号当直関連業務								
	発生場所	1~4号機周辺								
	作業主管G	運営設備グループ			監理員	TEL				
	元請会社	東京電力 1~4号当直			担当者	TEL				
	線量測定年月日	2019/8/15	測定者		測定器名	GM管式サーベイメータ	管理番号	F1-GMAD-243		
	No.	保管物名			※カテゴリ	物 量	測定場所 雰囲気線量率	表面線量率	β ・ α 汚染の有無	β ・ γ 線量率
	1	黄タグ(鉄板)、ワイヤー、鉄片類			B 01 D A	0.01 m	0.03 mSv/h	0.03 mSv/h	無	
	2	カメラ、計測器類			B 03 D A	0.01 m	0.03 mSv/h	0.03 mSv/h	無	
	3	懐中電灯、電池、メジャー類			B 10 D B	0.01 m	0.03 mSv/h	0.03 mSv/h	無	
	4					m				
	5					m				

固体廃棄物管理G記入欄				受付
受付番号				
廃2019	—	08	—	0148
				2019/8/16
調整後保管日時		2019年8月22日 9:30		
【保管時の指示事項等】				

線量測定内容			
測定日	2019年8月22日		
測定No.	氏名	測定器	管理番号
1		ICW	F1-ICW-209
2			
3			
4			

保管 実績 記 入 欄 メ モ	No.	枝 番	保 管 物 名	測定場所 雰囲気線量率	表面線量率	β ・ γ 線量率	保管場所	保管日時	物 量	再利用 減容可	コンテナNo.	測定No.
	1	1	黄タグ(鉄板)、ワイヤー、鉄片類①	5 μ Sv/h	5 μ Sv/h		エリアPI(屋外)	2019/8/22 9:35	0.01 m			1
	2	1	カメラ、計測器類②	5 μ Sv/h	5 μ Sv/h		エリアPI(屋外)	2019/8/22 9:35	0.01 m			1
	3	1	懐中電灯、電池、メジャー類②	5 μ Sv/h	5 μ Sv/h		エリアPI(屋外)	2019/8/22 9:35	0.01 m			1
									m			
									m			

* 線量測定は保管場所があらかじめ決まっている伐採木等は省略する。再利用/減容が可能と推測される場合、再利用:RU、減容:VRと記載。固体庫保管時はコンテナNo.記載

メ モ	
--------	--

※カ テ ゴ リ	①	A	可 燃 物	01	紙・ウエス類	02	プラスチック・ポリ・ビニール類	03	木材類	04	可燃物その他	05	—
				06	—	07	—	08	—	09	—	10	—
		B	不 燃 物	01	金属ガラ	02	コンクリートガラ	03	機器類・制御盤類	04	土砂類	05	塩化ビニール類
				06	保温材	07	石綿含有物	08	ケーブル類	09	アスファルトガラ	10	不燃物その他
				11	フランジタンク本体	12	フランジタンク付属品	13	石綿含有物(はつり屑等)	14	—	15	—
		C	難 燃 物	01	ゴム類	02	難燃シート類	03	ホース類	04	難燃物その他	05	—
				D	伐 採 木	01	伐採木(幹・根)	02	伐採木(枝・葉)	03	—	04	—
		②	状 態			D:乾燥, W:湿気有		③	履 歴	A:「1F構内にあった物」, B:「工事のために持ち込まれた物」			

注1:可燃・難燃物は原則として透明袋に収納すること。注2:伐採木の積み上げ高さは固体廃棄物管理Gの指示に従うこと。(最大で5m以下とする。)
 注3:飛散抑制等必要な措置を講じ運搬し、保管エリアに応じた飛散防止(養生、容器収納等)を施し保管すること。注4:塩化ビニール類については可燃・難燃側に持込みのこと。
 注5: β 汚染有の場合、表面線量率欄には「 γ 」のみの線量率を記載し、 β ・ γ 線量率欄に「 β ・ γ 」の線量率を記載すること。 β 汚染無の場合は、 β ・ γ 線量率の記載不要。
 注6:コンテナで持ち込む場合は、保管物名欄またはメモ欄にコンテナNo.を記載すること。

瓦 礫 類 ・ 伐 採 木 管 理 票

計上No. 6013708 - 0052

作業主管理	保管希望日時	2019年8月23日		(金)	9:30		承認	審査	作成	
	作業件名	G6北エリアタンク他設置工事								
	発生場所	ヤード G6タンクエリア					2019/8/19	2019/8/19	2019/8/19	
	作業主管G	貯留設備グループ			監理員		TEL			
	元請会社				担当者		TEL			
線量測定	線量測定年月日	2019/8/9		測定者			測定器名	SC		
								管理番号 F1-SC-036		
	No.	保管物名			※カテゴリ	物 量	測定場所 雰囲気線量率	表面線量率	$\beta \cdot \alpha$ 汚染の有無	$\beta + \gamma$ 線量率
		①	②	③						
	1	ダンボール・紙・ウエス	A	01	D	B	0.5 m ²	0.01 mSv/h	0.01 mSv/h	無
2	ビニール袋・ビニールシート・テープ	A	02	D	B	0.1 m ²	0.01 mSv/h	0.01 mSv/h	無	
3	コーキング容器	B	10	D	B	1 m ²	0.01 mSv/h	0.01 mSv/h	無	
4	コーキング	B	10	D	B	0.2 m ²	0.01 mSv/h	0.01 mSv/h	無	
5	ウエイト・難燃シート	C	01	D	B	0.01 m ²	0.01 mSv/h	0.01 mSv/h	無	
注: α 有、 $\beta \alpha$ 有の場合、 α 線量情報をここに記載のこと。										

固体廃棄物管理G記入欄				受付
受 付 番 号				
廃2019	—	08	—	0149
				2019/8/19
調整後保管日時		2019年8月23日		9:30
【保管時の指示事項等】				

線量測定内容			
測定日	2019年8月23日		
測定No.	氏名	測定器	管理番号
1		ICW	F1-ICW-179
2		ICW	F1-ICW-209
3			
4			

保管実績記入欄	No.	枝番	保管物名	測定場所 雰囲気線量率	表面線量率	$\beta + \gamma$ 線量率	保管場所	保管日時	物 量	再利用 減容可	コンテナNo.	測定No.
	1	1	ダンボール・紙・ウエス	2 μ Sv/h	2 μ Sv/h		エリアO	2019/8/23 10:15	1 m ²			1
	2	1	ビニール袋・ビニールシート・テープ	2 μ Sv/h	2 μ Sv/h		エリアO	2019/8/23 10:15	0.05 m ²			1
	3	1	コーキング容器 ②	5 μ Sv/h	5 μ Sv/h		エリアP1(屋外)	2019/8/23 10:30	1 m ²			2
	4	1	コーキング ②	5 μ Sv/h	5 μ Sv/h		エリアP1(屋外)	2019/8/23 10:30	0.5 m ²			2
5	1	ウエイト・難燃シート	2 μ Sv/h	2 μ Sv/h		エリアO	2019/8/23 10:15	0.02 m ²			1	
* 線量測定は保管場所があらかじめ決まっている伐採木等は省略する。 再利用/減容が可能と推測される場合、再利用:RU、減容:VRと記載。固体庫保管時はコンテナNo.記載												

※カ テ ゴ リ	①	A	可 燃 物	01	紙・ウエス類	02	プラスチック・ポリ・ビニール類	03	木材類	04	可燃物その他	05	—
				06	—	07	—	08	—	09	—	10	—
		B	不 燃 物	01	金属ガラ	02	コンクリートガラ	03	機器類・制御盤類	04	土砂類	05	塩化ビニール類
				06	保温材	07	石綿含有物	08	ケーブル類	09	アスファルトガラ	10	不燃物その他
				11	フランジタンク本体	12	フランジタンク付属品	13	石綿含有物(はつり屑等)	14	—	15	—
		C	難燃物	01	ゴム類	02	難燃シート類	03	ホース類	04	難燃物その他	05	—
		D	伐採木	01	伐採木(幹・根)	02	伐採木(枝・葉)	03	—	04	—	05	—
		②	状 態	D:乾燥, W:湿気有		③	履 歴	A:「1F構内にあった物」, B:「工事のために持ち込まれた物」					

注1: 可燃・難燃物は原則として透明袋に収納すること。 注2: 伐採木の積み上げ高さは固体廃棄物管理Gの指示に従うこと。(最大で5m以下とする。)

注3: 飛散抑制等必要な措置を講じ運搬し、保管エリアに応じた飛散防止(養生、容器収納等)を施し保管すること。 注4: 塩化ビニール類については可燃・難燃側に持込みのこと。

注5: β 汚染有の場合、表面線量率欄には「 γ 」のみの線量率を記載し、 $\beta + \gamma$ 線量率欄に「 $\beta + \gamma$ 」の線量率を記載すること。 β 汚染無の場合は、 $\beta + \gamma$ 線量率の記載不要。

注6: コンテナで持ち込む場合は、保管物名欄またはメモ欄にコンテナNo. を記載すること。

瓦礫類・伐採木管理票（別紙）

作業 主 管 G 記 入 欄	No.	保 管 物 名	※カテゴリ				物 量		測定場所 雰囲気線量率		表面線量率		$\beta \cdot \alpha$ 汚染の 有無	$\beta + \gamma$ 線量率	
			①		②	③									
	6	防草シート	A	04	D	B	0.01	m ²	0.01	mSv/h	0.01	mSv/h	無		
	7	鉄板	B	01	D	B	3	m ²	0.01	mSv/h	0.01	mSv/h	無		
	8						m ²								
	9						m ²								
	10						m ²								

固体廃棄物管理G記入欄					
受付番号	廃2019	—	08	—	0149

保管 実績 記入 欄	No.	枝番	保管物名	測定場所 雰囲気線量率		表面線量率		$\beta + \gamma$ 線量率		保管場所	保管日時	物 量		再利用 ／ 減容可	コンテナNo.	測定No.
	6	1	防草シート	2	$\mu\text{Sv/h}$	2	$\mu\text{Sv/h}$			エリアO	2019/8/23 10:15	0.1	m ²			1
	7	1	鉄板 ①	5	$\mu\text{Sv/h}$	5	$\mu\text{Sv/h}$			エリアPI(屋外)	2019/8/23 10:30	1.5	m ²			2
													m ²			
													m ²			
													m ²			
													m ²			
													m ²			
													m ²			
													m ²			
													m ²			
													m ²			
													m ²			
													m ²			
													m ²			
													m ²			
													m ²			
													m ²			

* 線量測定は保管場所があらかじめ決まっている伐採木等は省略する。 再利用／減容が可能と推測される場合、再利用:RU、減容:VRと記載。固体庫保管時はコンテナNo.記載

※カテゴリー	①	A	可燃物	01	紙・ウエス類	02	プラスチック・ホリ・ビニール類	03	木材類	04	可燃物その他	05	—
				06	—	07	—	08	—	09	—	10	—
		B	不燃物	01	金属ガラ	02	コンクリートガラ	03	機器類・制御盤類	04	土砂類	05	塩化ビニール類
				06	保温材	07	石綿含有物	08	ケーブル類	09	アスファルトガラ	10	不燃物その他
				11	フランジタンク本体	12	フランジタンク付属品	13	石綿含有物(はつり屑等)	14	—	15	—
		C	難燃物	01	ゴム類	02	難燃シート類	03	ホース類	04	難燃物その他	05	—
		D	伐採木	01	伐採木(幹・根)	02	伐採木(枝・葉)	03	—	04	—	05	—
		②	状態	D:乾燥, W:湿気有		③	履歴	A:「1F構内にあった物」, B:「工事のために持ち込まれた物」					

注1:可燃・難燃物は原則として透明袋に収納すること。注2:伐採木の積み上げ高さは固体廃棄物管理Gの指示に従うこと。(最大で5m以下とする。)
注3:飛散抑制等必要な措置を講じ運搬し、保管エリアに応じた飛散防止(養生、容器収納等)を施し保管すること。注4:塩化ビニール類については可燃・難燃側に持込みのこと。
注5:β汚染有の場合、表面線量率欄には「γ」のみの線量率を記載し、β+γ線量率欄に「β+γ」の線量率を記載すること。β汚染無の場合は、β+γ線量率の記載不要。
注6:コンテナで持ち込む場合は、保管物名欄またはメモ欄にコンテナNo. を記載すること。

瓦 礫 類 ・ 伐 採 木 管 理 票

計上No. 6013704 - 0001

作業 主 管 G 記 入 欄	保管希望日時	2019年8月23日		(金)	10:30		承認	審査	作成		
	作業件名	セシウム吸着塔保管管理									
	発生場所	第二仮保管施設(GK28)						2019/8/19	2019/8/19	2019/8/19	
	作業主管G	処理設備グループ				監理員		TEL			
	元請会社					担当者		TEL			
	線量測定年月日	2019/8/8	測定者		測定器名	①F1-ICW		管理番号	169		
メ モ	No.	保管物名				※カテゴリ	物 量	測定場所 雰囲気線量率	表面線量率	β ・ α 汚染の有無	β + γ 線量率
		①	②	③							
	1	機器類(発電機)	B	03	D	A	4.2 m ³	0.008 mSv/h	0.008 mSv/h	無	
	2	ケーブル類	B	08	D	A	0.3 m ³	0.008 mSv/h	0.008 mSv/h	無	
	3	金属ガラ(オイルパン)	B	01	D	A	0.5 m ³	0.008 mSv/h	0.008 mSv/h	無	
4						m ³					
5						m ³					

注: α 有、 β α 有の場合、 α 線量情報をここに記載のこと。
 処理方法: 持ち込み 日時: 2019年8月23日 10:30

固体廃棄物管理G記入欄				受付
受 付 番 号				
廃2019	—	08	—	0150
				2019/8/19
調整後保管日時		2019年8月23日		10:30
【保管時の指示事項等】				

線量測定内容			
測定日	2019年8月23日		
測定No.	氏名	測定器	管理番号
1		ICW	F1-ICW-209
2			
3			
4			

保管 実績 記 入 欄	No.	枝 番	保 管 物 名	測定場所 雰囲気線量率	表面線量率	β + γ 線量率	保管場所	保管日時	物 量	再利用 減容可	コンテナNo.	測定No.
	1	1	機器類(発電機) ①	5 μ Sv/h	5 μ Sv/h		エリアPI(屋外)	2019/8/23 9:30	5 m ³			1
	2	1	ケーブル類 ①	5 μ Sv/h	5 μ Sv/h		エリアPI(屋外)	2019/8/23 9:30	0.3 m ³			1
	3	1	金属ガラ(オイルパン) ①	5 μ Sv/h	5 μ Sv/h		エリアPI(屋外)	2019/8/23 9:30	1 m ³			1
									m ³			
									m ³			

* 線量測定は保管場所があらかじめ決まっている伐採木等は省略する。 再利用/減容が可能と推測される場合、再利用:RU、減容:VRと記載。固体庫保管時はコンテナNo.記載

※カ テ ゴ リ	①	A	可 燃 物	01	紙・ウエス類	02	プラスチック・ポリ・ビニール類	03	木材類	04	可燃物その他	05	—
				06	—	07	—	08	—	09	—	10	—
		B	不 燃 物	01	金属ガラ	02	コンクリートガラ	03	機器類・制御盤類	04	土砂類	05	塩化ビニール類
				06	保温材	07	石綿含有物	08	ケーブル類	09	アスファルトガラ	10	不燃物その他
				11	フランジタンク本体	12	フランジタンク付属品	13	石綿含有物(はつり屑等)	14	—	15	—
		C	難 燃 物	01	ゴム類	02	難燃シート類	03	ホース類	04	難燃物その他	05	—
				01	伐採木(幹・根)	02	伐採木(枝・葉)	03	—	04	—	05	—
		D	伐 採 木	01	伐採木(幹・根)	02	伐採木(枝・葉)	03	—	04	—	05	—
				01	伐採木(幹・根)	02	伐採木(枝・葉)	03	—	04	—	05	—
		②	状 態	D:乾燥, W:湿気有		③	履 歴	A:「1F構内にあった物」, B:「工事のために持ち込まれた物」					

注1: 可燃・難燃物は原則として透明袋に収納すること。 注2: 伐採木の積み上げ高さは固体廃棄物管理Gの指示に従うこと。(最大で5m以下とする。)
 注3: 飛散抑制等必要な措置を講じ運搬し、保管エリアに応じた飛散防止(養生、容器収納等)を施し保管すること。 注4: 塩化ビニール類については可燃・難燃側に持込みのこと。
 注5: β 汚染有の場合、表面線量率欄には「 γ 」のみの線量率を記載し、 β + γ 線量率欄に「 β + γ 」の線量率を記載すること。 β 汚染無の場合は、 β + γ 線量率の記載不要。
 注6: コンテナで持ち込む場合は、保管物名欄またはメモ欄にコンテナNo. を記載すること。

瓦 礫 類 ・ 伐 採 木 管 理 票

計上No. 6013803 - 0010

作 業 主 管 入 欄	保管希望日時	2019年8月23日	(金)	8:00	承認	審査	作成
	作業件名	H5エリアタンク基礎他設置工事並びに関連除却工事					
	発生場所	H5タンクエリア			2019/8/20	2019/8/20	2019/8/20
	作業主管G	貯留設備土木グループ		監理員		TEL	
	元請会社			担当者		TEL	
G 記 入 欄	線量測定年月日	2019/8/20	測定者		測定器名	ICW-BL	管理番号
							1F-ICWBL-14
	No.	※カテゴリ			物 量	測定場所 雰囲気線量率	表面線量率
		①	②	③			β・α 汚染の 有無
							β + γ 線量率
メ モ	1	金属ガラ(300H鋼 L=2.8m 8本)			5 m ³	2 μSv/h	10 μSv/h
	2				m ³		
	3				m ³		
	4				m ³		
	5				m ³		
自社運搬							

固体廃棄物管理G記入欄				受付
受 付 番 号				
廃2019	—	08	—	0154
				2019/8/20
調整後保管日時		2019年8月23日		8:00
【保管時の指示事項等】				

線量測定内容			
測定日	2019年8月23日		
測定No.	氏名	測定器	管理番号
1		ICWBL	F1-ICWBL-42
2			
3			
4			

保管 実績 記入 欄	No.	枝 番	保 管 物 名	測定場所 雰囲気線量率	表面線量率	β + γ 線量率	保管場所	保管日時	物 量	再利用 減容可	コンテナNo.	測定No.
	1	1	金属ガラ(300H鋼 L=2.8m 8本) ①	5 μSv/h	5 μSv/h		エリアP1(屋外)	2019/8/23 8:00	6 m ³			1
									m ³			
									m ³			
									m ³			
									m ³			

* 線量測定は保管場所があらかじめ決まっている伐採木等は省略する。再利用／減容が可能と推測される場合、再利用:RU、減容:VRと記載。固体庫保管時はコンテナNo.記載

メ モ	
--------	--

※カ テ ゴ リ	①	A	可 燃 物	01	紙・ウエス類	02	プラスチック・ポリビニール類	03	木材類	04	可燃物その他	05	—
				06	—	07	—	08	—	09	—	10	—
		B	不 燃 物	01	金属ガラ	02	コンクリートガラ	03	機器類・制御盤類	04	土砂類	05	塩化ビニール類
				06	保温材	07	石綿含有物	08	ケーブル類	09	アスファルトガラ	10	不燃物その他
				11	フランジタンク本体	12	フランジタンク付属品	13	石綿含有物(はつり屑等)	14	—	15	—
		C	難 燃 物	01	ゴム類	02	難燃シート類	03	ホース類	04	難燃物その他	05	—
				01	伐採木(幹・根)	02	伐採木(枝・葉)	03	—	04	—	05	—
		D	伐 採 木	01	伐採木(幹・根)	02	伐採木(枝・葉)	03	—	04	—	05	—
				01	伐採木(幹・根)	02	伐採木(枝・葉)	03	—	04	—	05	—
		②	状 態	D:乾燥, W:湿気有	③	履 歴	A:「1F構内にあった物」, B:「工事のために持ち込まれた物」						

注1:可燃・難燃物は原則として透明袋に収納すること。注2:伐採木の積み上げ高さは固体廃棄物管理Gの指示に従うこと。(最大で5m以下とする。)
 注3:飛散抑制等必要な措置を講じ運搬し、保管エリアに応じた飛散防止(養生、容器収納等)を施し保管すること。注4:塩化ビニール類については可燃・難燃側に持込みのこと。
 注5:β汚染有の場合、表面線量率欄には「γ」のみの線量率を記載し、β + γ線量率欄に「β + γ」の線量率を記載すること。β汚染無の場合は、β + γ線量率の記載不要。
 注6:コンテナで持ち込む場合は、保管物名欄またはメモ欄にコンテナNo. を記載すること。

瓦 礫 類 ・ 伐 採 木 管 理 票

計上No. 6013708 - 0091

作業 主 管 欄 メモ	保管希望日時	2019年8月23日		(金)	11:00	承認	審査	作成			
	作業件名	タンクの減容保管委託(2019)									
	発生場所	定検機材倉庫A・B棟					2019/8/23	2019/8/23	2019/8/23		
	作業主管G	貯留設備グループ			監理員		TEL				
	元請会社				担当者		TEL				
	線量測定年月日	2019/8/23	測定者		測定器名	F1-ICW,ICWBH	管理番号	158,18			
G 記 入 欄 メモ	No.	保管物名			※カテゴリ	物 量	測定場所 雰囲気線量率	表面線量率	$\beta \cdot \alpha$ 汚染の有無	$\beta + \gamma$ 線量率	
		①	②	③							
	1	フランジタンク片天板(180210)	B	11	D	A	21 m ²	0.001 mSv/h	0.001 mSv/h	無	
	2						m ²				
	3						m ²				
	4						m ²				
5						m ²					

注: α 有、 β α 有の場合、 α 線量情報をここに記載のこと。
20ftコンテナに詰込み、保管致します。⇒AAエリアへ保管

固体廃棄物管理G記入欄				受付
受付番号				
高2019	—	08	—	0024
				2019/8/23
調整後保管日時		2019年8月23日		11:00
【保管時の指示事項等】				

線量測定内容			
測定日	2019年8月23日		
測定No.	氏名	測定器	管理番号
1		ICWBL	F1-ICWBL-42
2			
3			
4			

保管 実績 記入 欄 メモ	No.	枝 番	保管物名	測定場所 雰囲気線量率	表面線量率	$\beta + \gamma$ 線量率	保管場所	保管日時	物 量	再利用 減容可	コンテナNo.	測定No.
	1	1	フランジタンク片天板(180210)	1 μ Sv/h	1 μ Sv/h	1 μ Sv/h	エリアAA	2019/8/23 10:40	21 m ²		180210	1
									m ²			
									m ²			
									m ²			
									m ²			

*線量測定は保管場所があらかじめ決まっている伐採木等は省略する。再利用/減容が可能と推測される場合、再利用:RU、減容:VRと記載。固体庫保管時はコンテナNo.記載

メモ	
----	--

※カ テ ゴ リ	①	A	可 燃 物	01	紙・ウエス類	02	プラスチック・ホリ・ビニール類	03	木材類	04	可燃物その他	05	—	
				06	—	07	—	08	—	09	—	10	—	
		B	不 燃 物	01	金属ガラ	02	コンクリートガラ	03	機器類・制御盤類	04	土砂類	05	塩化ビニール類	
				06	保温材	07	石綿含有物	08	ケーブル類	09	アスファルトガラ	10	不燃物その他	
				11	フランジタンク本体	12	フランジタンク付属品	13	石綿含有物(はつり屑等)	14	—	15	—	
		C	難燃物	01	ゴム類	02	難燃シート類	03	ホース類	04	難燃物その他	05	—	
		D	伐採木	01	伐採木(幹・根)	02	伐採木(枝・葉)	03	—	04	—	05	—	
		②	状 態	D:乾燥, W:湿気有		③	履 歴	A:「1F構内にあった物」, B:「工事のために持ち込まれた物」						

注1:可燃・難燃物は原則として透明袋に収納すること。注2:伐採木の積み上げ高さは固体廃棄物管理Gの指示に従うこと。(最大で5m以下とする。)
注3:飛散抑制等必要な措置を講じ運搬し、保管エリアに応じた飛散防止(養生、容器収納等)を施し保管すること。注4:塩化ビニール類については可燃・難燃側に持込みのこと。
注5: β 汚染有の場合、表面線量率欄には「 γ 」のみの線量率を記載し、 $\beta + \gamma$ 線量率欄に「 $\beta + \gamma$ 」の線量率を記載すること。 β 汚染無の場合は、 $\beta + \gamma$ 線量率の記載不要。
注6:コンテナで持ち込む場合は、保管物名欄またはメモ欄にコンテナNo.を記載すること。

瓦 礫 類 ・ 伐 採 木 管 理 票

計上No. 6012803 - 0020

作業 主 管 G 記 入 欄	保管希望日時	2019年8月19日		(月)	10:00	承認	審査	作成		
	作業件名	3m キャスク取扱構内移送業務委託								
	発生場所	燃料倉庫(GM-19 東)				2019/7/31	2019/7/31	2019/7/31		
	作業主管G	燃料管理グループ			監理員	TEL				
	元請会社				担当者	TEL				
	線量測定年月日	2019/7/26	測定者			測定器名	ICWBL	管理番号	F1-ICWBL-113	
	No.	※カテゴリ			物 量	測定場所 雰囲気線量率	表面線量率	β・α 汚染の有無	β + γ 線量率	
		①	②	③						
	1	紙・ウエス類	A	01	W	B	1.5 m ²	5 μSv/h	5 μSv/h	無
	2	プラスチック・ポリ・ビニール類	A	02	D	B	1 m ²	5 μSv/h	5 μSv/h	無
	3	木材類	A	03	D	B	0.5 m ²	5 μSv/h	5 μSv/h	無
	4	可燃物その他	A	04	D	B	0.7 m ²	5 μSv/h	5 μSv/h	無
	5	難燃シート類	C	02	D	B	0.7 m ²	5 μSv/h	5 μSv/h	無
メモ	巡回回収場所: GM-19 東									

固体廃棄物管理G記入欄				受付
受 付 番 号				
高2019	—	08	—	0034
				2019/8/1
調整後保管日時		2019年8月19日		10:00
【保管時の指示事項等】				
発生場所にて管理票の確認。 運搬車を配備致しますので 保管物の積込みをお願いします。				

線量測定内容			
測定日	2019年8月19日		
測定No.	氏名	測定器	管理番号
1		ICW	F1-ICW-179
2			
3			
4			

保管 実績 記 入 欄	No.	枝 番	保 管 物 名	測定場所 雰囲気線量率	表面線量率	β + γ 線量率	保管場所	保管日時	物 量	再利用 減容可	コンテナNo.	測定No.
	1	1	紙・ウエス類	2 μSv/h	2 μSv/h		エリアV(瓦礫類)	2019/8/19 10:10	0.8 m ²			1
	2	1	プラスチック・ポリ・ビニール類	2 μSv/h	2 μSv/h		エリアV(瓦礫類)	2019/8/19 10:10	0.5 m ²			1
	3	1	木材類	2 μSv/h	2 μSv/h		エリアV(瓦礫類)	2019/8/19 10:10	0.1 m ²			1
	4	1	可燃物その他	2 μSv/h	2 μSv/h		エリアV(瓦礫類)	2019/8/19 10:10	0.3 m ²			1
	5	1	難燃シート類	2 μSv/h	2 μSv/h		エリアV(瓦礫類)	2019/8/19 10:10	0.4 m ²			1

* 線量測定は保管場所があらかじめ決まっている伐採木等は省略する。再利用／減容が可能と推測される場合、再利用:RU、減容:VRと記載。固体庫保管時はコンテナNo.記載

メモ	
----	--

※カ テ ゴ リ	①	A	可 燃 物	01	紙・ウエス類	02	プラスチック・ポリ・ビニール類	03	木材類	04	可燃物その他	05	—	
				06	—	07	—	08	—	09	—	10	—	
		B	不 燃 物	01	金属ガラ	02	コンクリートガラ	03	機器類・制御盤類	04	土砂類	05	塩化ビニール類	
				06	保温材	07	石綿含有物	08	ケーブル類	09	アスファルトガラ	10	不燃物その他	
				11	フランジタンク本体	12	フランジタンク付属品	13	石綿含有物(はつり屑等)	14	—	15	—	
		C	難燃物	01	ゴム類	02	難燃シート類	03	ホース類	04	難燃物その他	05	—	
		D	伐 採 木	01	伐採木(幹・根)	02	伐採木(枝・葉)	03	—	04	—	05	—	
		②	状 態	D:乾燥, W:湿気有	③	履 歴	A:「1F構内にあった物」, B:「工事のために持ち込まれた物」							

注1:可燃・難燃物は原則として透明袋に収納すること。注2:伐採木の積み上げ高さは固体廃棄物管理Gの指示に従うこと。(最大で5m以下とする。)
 注3:飛散抑制等必要な措置を講じ運搬し、保管エリアに応じた飛散防止(養生、容器収納等)を施し保管すること。注4:塩化ビニール類については可燃・難燃側に持込みのこと。
 注5:β汚染有の場合、表面線量率欄には「γ」のみの線量率を記載し、β + γ線量率欄に「β + γ」の線量率を記載すること。β汚染無の場合は、β + γ線量率の記載不要。
 注6:コンテナで持ち込む場合は、保管物名欄またはメモ欄にコンテナNo.を記載すること。

瓦 礫 類 ・ 伐 採 木 管 理 票

計上No. 6013214 - 0001

作業 主 管 G 記 入 欄 メ モ	保管希望日時	2019年8月21日		(水)	8:00		承認	審査	作成	
	作業件名	共用プール西側ヤード整備工事関連除却工事								
	発生場所	第二土捨場(GN-9南西)					2019/8/2	2019/8/2	2019/8/2	
	作業主管G	建築廃棄物対策グループ			監理員			TEL		
	元請会社				担当者			TEL		
	線量測定年月日	2019/7/11		測定者			測定器名	電離箱	管理番号	
	No.	保管物名			※カテゴリ	物 量	測定場所 雰囲気線量率	表面線量率	$\beta \cdot \alpha$ 汚染の有無	$\beta + \gamma$ 線量率
	1	塩化ビニール類			B 05 D A	3 m ²	0.002 mSv/h	0.002 mSv/h	無	
	2	難燃物その他			C 04 D A	0.5 m ²	0.002 mSv/h	0.002 mSv/h	無	
	3					m ²				
	4					m ²				
	5					m ²				
メ モ	注: α 有、 $\beta \alpha$ 有の場合、 α 線量情報をここに記載のこと。									

固体廃棄物管理G記入欄				受付
受 付 番 号				
高2019	—	08	—	0054
				2019/8/2
調整後保管日時		2019年8月21日		8:00
【保管時の指示事項等】				
発生場所にて管理票の確認。 運搬車を配備致しますので 保管物の詰込みをお願いします。				

線量測定内容			
測定日	2019年8月21日		
測定No.	氏名	測定器	管理番号
1		ICWBL	F1-ICWBL-126
2			
3			
4			

保管 実績 記 入 欄 メ モ	No.	枝 番	保 管 物 名	測定場所 雰囲気線量率	表面線量率	$\beta + \gamma$ 線量率	保管場所	保管日時	物 量	再利用 減容可	コンテナNo.	測定No.
	1	1	塩化ビニール類 (→H)	2 μ Sv/h	2 μ Sv/h		エリアO	2019/8/21 8:20	1.5 m ²			1
	2	1	難燃物その他	2 μ Sv/h	2 μ Sv/h		エリアO	2019/8/21 8:20	0.3 m ²			1
									m ²			
									m ²			
									m ²			

* 線量測定は保管場所があらかじめ決まっている伐採木等は省略する。 再利用/減容が可能と推測される場合、再利用:RU、減容:VRと記載。固体庫保管時はコンテナNo.記載

メ モ	
--------	--

※カ テ ゴ リ	①	A	可 燃 物	01	紙・ウエス類	02	プラスチック・ポリ・ビニール類	03	木材類	04	可燃物その他	05	—
				06	—	07	—	08	—	09	—	10	—
		B	不 燃 物	01	金属ガラ	02	コンクリートガラ	03	機器類・制御盤類	04	土砂類	05	塩化ビニール類
				06	保温材	07	石綿含有物	08	ケーブル類	09	アスファルトガラ	10	不燃物その他
				11	フランジタンク本体	12	フランジタンク付属品	13	石綿含有物(はつり屑等)	14	—	15	—
		C	難燃物	01	ゴム類	02	難燃シート類	03	ホース類	04	難燃物その他	05	—
				D	伐 採 木	01	伐採木(幹・根)	02	伐採木(枝・葉)	03	—	04	—
		②	状 態			D:乾燥, W:湿気有	③	履 歴	A:「1F構内にあった物」, B:「工事のために持ち込まれた物」				

注1: 可燃・難燃物は原則として透明袋に収納すること。 注2: 伐採木の積み上げ高さは固体廃棄物管理Gの指示に従うこと。(最大で5m以下とする。)
 注3: 飛散抑制等必要な措置を講じ運搬し、保管エリアに応じた飛散防止(養生、容器収納等)を施し保管すること。 注4: 塩化ビニール類については可燃・難燃側に持込みのこと。
 注5: β 汚染有の場合、表面線量率欄には「 γ 」のみの線量率を記載し、 $\beta + \gamma$ 線量率欄に「 $\beta + \gamma$ 」の線量率を記載すること。 β 汚染無の場合は、 $\beta + \gamma$ 線量率の記載不要。
 注6: コンテナで持ち込む場合は、保管物名欄またはメモ欄にコンテナNo. を記載すること。

瓦 礫 類 ・ 伐 採 木 管 理 票

計上No. 6013203 - 0016

作業 主 管 欄 メモ	保管希望日時	2019年8月20日		(火)	8:30	承認	審査	作成			
	作業件名	サブドレン強化対策工事(旧名称:1~4号機サブドレン改造工事)									
	発生場所	1~4号機R/B西側・集水タンクエリア				2019/8/6	2019/8/6	2019/8/6			
	作業主管G	建築水対策グループ			監理員	TEL					
	元請会社				担当者	TEL					
	線量測定年月日	2019/7/30	測定者		測定器名	ICWBL		管理番号			
	No.	※カテゴリ			物 量	測定場所 雰囲気線量率	表面線量率	β・α 汚染の有無			
		①	②	③				β + γ 線量率			
	1	紙・ウエス類	A	01	D	B	2 m ²	7 μSv/h	7 μSv/h	無	
	2	可燃物その他	A	04	D	B	0.5 m ²	7 μSv/h	7 μSv/h	無	
	3						m ²				
	4						m ²				
	5						m ²				
注: α 有、β α 有の場合、α 線量情報をここに記載のこと。 【回収】 巡回回収場所:グリット番号:GK-26(北東)											

固体廃棄物管理G記入欄				受付
受 付 番 号				
高2019	—	08	—	0058
				2019/B/6
調整後保管日時		2019年8月20日		8:30
【保管時の指示事項等】				
発生場所にて管理票の確認。 運搬車を配備致しますので 保管物の積込みをお願いします。				

線量測定内容				
測定日	2019年8月20日			
測定No.	氏名	測定器	管理番号	
1		ICW	F1-ICW-179	
2				
3				
4				

保管 実績 記入 欄 メモ	No.	枝 番	保 管 物 名	測定場所 雰囲気線量率	表面線量率	β + γ 線量率	保管場所	保管日時	物 量	再利用 減容可	コンテナNo.	測定No.
	1	1	紙・ウエス類	2 μSv/h	2 μSv/h		エリアV(瓦礫類)	2019/8/20 8:50	1.8 m ²			1
									m ²			
									m ²			
									m ²			
									m ²			

*線量測定は保管場所があらかじめ決まっている伐採木等は省略する。 再利用／減容が可能と推測される場合、再利用:RU、減容:VRと記載。固体庫保管時はコンテナNo.記載

※カ テ ゴ リ	①	A	可 燃 物	01	紙・ウエス類	02	プラスチック・ホリ・ビニール類	03	木材類	04	可燃物その他	05	—
				06	—	07	—	08	—	09	—	10	—
		B	不 燃 物	01	金属ガラ	02	コンクリートガラ	03	機器類・制御盤類	04	土砂類	05	塩化ビニール類
				06	保温材	07	石綿含有物	08	ケーブル類	09	アスファルトガラ	10	不燃物その他
				11	フランジタンク本体	12	フランジタンク付属品	13	石綿含有物(はつり屑等)	14	—	15	—
		C	難 燃 物	01	ゴム類	02	難燃シート類	03	ホース類	04	難燃物その他	05	—
				01	伐採木(幹・根)	02	伐採木(枝・葉)	03	—	04	—	05	—
		D	伐 採 木	01	伐採木(幹・根)	02	伐採木(枝・葉)	03	—	04	—	05	—
				01	伐採木(幹・根)	02	伐採木(枝・葉)	03	—	04	—	05	—
		②	状 態	D:乾燥, W:湿気有	③	履 歴	A:「1F構内にあった物」, B:「工事のために持ち込まれた物」						

注1:可燃・難燃物は原則として透明袋に収納すること。 注2:伐採木の積み上げ高さは固体廃棄物管理Gの指示に従うこと。(最大で5m以下とする。)
注3:飛散抑制等必要な措置を講じ運搬し、保管エリアに応じた飛散防止(養生、容器収納等)を施し保管すること。 注4:塩化ビニール類については可燃・難燃側に持込みのこと。
注5:β汚染有の場合、表面線量率欄には「γ」のみの線量率を記載し、β + γ線量率欄に「β + γ」の線量率を記載すること。β汚染無の場合は、β + γ線量率の記載不要。
注6:コンテナで持ち込む場合は、保管物名欄またはメモ欄にコンテナNo. を記載すること。